

わたしたちのふるさと



そん しょう
村 章



この村章は「フク」の字を組み合せて図案化したもので、円は団結と融和を、円内の白い部分は、開発・発展を象徴したものです。

ふく え ぞん けん しょう
福栄村民憲章

- 一、緑の山を愛し、美しい環境をつくりまします
- 一、働くよろこびを知り、活力ある村づくりにはげまします
- 一、生涯を通じて学び、のびゆく力をそだてまします
- 一、心と体を鍛え、健康の増進につとめます
- 一、温かい家庭をつくり、明るい村をきびまします

福栄村の誕生30周年を記念して、村民憲章を制定しあわせて村の木、村の花木、村の草花、村の生物を選定しました。
(昭和60年10月)



村の花木 ヤマツツジ



村の木 アカマツ



村の草花 エビネ



村の生物 ホタル

しあわせのふるさと

作詞・島田陽子 作曲・池田八声 唄・嶺よう子

一、山のあわい 清流のほとりに

先祖は大地を ひらいてきたよ

緑ゆたかに かがやく福栄

四季の恵み あふれる

この ふるさとで

わたしたちは ちから寄せあう

二、桜 えびね つつじ 咲きつき

花はみんなを やさしくするよ

陽ざしあかるく のどかな福栄

こころかよう 住みよい

この ふるさとで

わたしたちは 明日を見つめる

三、香る歴史 守りつたえて

夢は未来を めざしていくよ

風もきらめく 希望の福栄

伸びる若芽 育み

この ふるさとで

わたしたちは ともに進もう

ふくえ音頭

作詞・島田陽子 作曲・市川昭介 唄・嶺よう子

一、ハア

山に抱かれた みどりの里は

育つ牛さえ 角がない ナント

松の色濃く 人情あつく

みんな仲よく 暮らしてる ソレ

そうよ 福栄は やすらぎの里

二、ハア

エビネ ツツジに 微笑むような

文殊菩薩や お葉師さん ナント

谷の蛍が とびかう頃は

きみと行きたい 佐々連洞 ソレ

三、ハア

恋のしぶきは 雄滝 雌滝

逢うてうれしい 鮎どころ ナント

若いうた声 キャンプにあふれ

こだましている 紫雲山 ソレ

四、ハア

ダムの紅葉に 呼ばれて行けば

かくれ十字や たたら跡 ナント

歴史 伝説 ゆたかな里に

維新ゆかりの 羽賀の台 ソレ

五、ハア

みんなおいでよ ふるさとまつり

汗のみのりが 光ってる ナント

神楽ばやしも 冴えざえひびき

未来へふくらむ 夢がある ソレ

そうよ 福栄は やすらぎの里

こころぬくもる ふるさとよ



わたしたちのふるさと
ふくしま

「わたしたちのふるさと ふくえ」によせて

福栄村長

わたしたちの住んでいる福栄村は、緑豊かで、人の心のあたたかい、そして山の幸・田の幸が多い農村です。

今日までの長い歴史の中で、先祖の方々が苦勞を重ね、あせを流しながら、子孫の繁榮を願って、今日の郷土をきずいてこられました。

今、わが国全体が、国際化の中で大きく変わろうとしておりますが、わたしたちの村も、大きな社会の変化におくれをとらないように、いろいろな整備を進めております。

それは、農業をはじめとする産業のしんこうをはかって、人々の働く場を作ること、道路や上下水道あるいは住宅を建設し生活環境をよくすること、ヒカリケーブル網をはりめぐらし、じょうほう通信を便利にすることなど、都会と同じ生活ができるようにしようとしていきます。

このように、「人や自然にやさしく」のキャッチフレーズのもと、人々が生き生きとくらせる村づくりにはげんでいます。

この村に生まれ、この村で成長していくみなさんは、郷土の事をよく知り、りっぱな後継者に育ってください。



「わたしたちのふるさと ふくえ」を利用する みなさんへ

福栄村教育委員会教育長

わたしたちのふるさと福栄村は、わたしたちの祖先^{そせん}が、遠いむかしから苦心して、守り、育て、きずきあげてこられた村です。

この福栄村に住んでいるわたしたちは、歴史^{れきし}と自然を大切にしながら、さらに豊^{ゆた}かで住みよい村づくりのために努力^{どりよく}をしなければなりません。

そのためには、福栄村の土地のようす、人々の仕事やくらしのようす、住みよい村にしていくための努力^{ねが}や願い、そして、今の福栄村をつくりあげてきた人々のようすなどについて、しっかり学習することが大切です。

このたび、村内の先生方^{どりよく}のご努力によって「わたしたちのふるさと ふくえ」が新しく書きあらためられました。

この本は、カラー写真^{しゃしん}や図表^{ずひょう}など多くとり入れ、みんなが親^{した}しんで学習できるように工夫^{くふう}してあります。これを使って郷土^{きょうど}のことをよく知り、ふるさと福栄村^{あい}を愛し、福栄村のいっそうの発展^{はってん}に役立つ人に育^{ねが}ってくれることを願っています。



もくじ

ページ

1 みんなでつくる村

- 1 うつくしい村づくり 1
 - (1) 花いっぱい運動 2
 - (2) いろいろな活動 4
- 2 わたしたちの公民館 5
 - (1) コミュニティセンター(福川公民館)〈半田公民館〉 5
 - (2) 農業担い手育成センター(紫福公民館) 6
- 3 村のいろいろなしせつ 9

2 わたしたちの村のようす

- 1 学校のまわりのようす 11
 - (1) 福川小学校のまわり 11
 - (2) 紫福小学校のまわり 13
- 2 村全体のようす 15
 - (1) 福川地区 15
 - (2) 紫福地区 16
 - (3) ガイドマップづくり 17

3 わたしたちのくらしと商店

- 1 買い物調べ 19
- 2 近くの店 21
- 3 スーパーマーケット 23
- 4 秋市の商店街 28
- 5 品物が生まれたところ 30
- 6 買い物の工夫 30

4 わたしたちのくらしと物をつくる仕事

- 1 村の農家でつくっている物 31
 - (1) 米をつくる 33
 - (2) 白菜はくさいをつくる 36
- 2 村の工場のうさんぶつでつくっている物かこう 38
 - (1) 農産物を加工する工場 39
 - (2) そのほかの工場 40

5 がわってきた人びとのくらし

- 1 学校のうつりかわり 41
 - (1) 福川小学校のうつりかわり 41
 - (2) 紫福小学校のうつりかわり 42



	ページ
(3) 児童数のうつりかわり	44
2 暮らしのうつりかわり	46
(1) 昔の道具	46
(2) 農家の仕事	47
(3) 福栄村の100年のあゆみ	48
3 村の古いものさがし	53
(1) 昔のようすを伝えるもの	53
(2) 昔から続いている行事	54
6 住みよいくらしをささえる	
1 わたしたちのくらしと水	55
(1) 学校で使われる水	56
(2) 村で使われる水	58
(3) 簡易水道のしくみ	59
(4) 水のゆくえ	62
2 わたしたちのくらしとごみ	63
(1) ごみの種類と量	63
(2) ごみを集める	65
(3) ごみの行き先	66
(4) 萩清掃工場の見学	67
(5) 萩清掃工場のしくみ	69
(6) ごみとかんきょう	71
7 安全なくらしをまもる	
1 交通事故を防ぐ	73
(1) 交通事故を防ぐしせつ	75
(2) 交通事故が起きたら	76
(3) 交通事故を防ぐ工夫や努力	77
2 火事を防ぐ	80
(1) 火事を防ぐ	80
(2) 火事が起きたら	84
3 風水害を防ぐ	88
8 郷土を開く	
1 郷土の発展につくした人びと	91
(1) 水路ずい道のある堀越	91
(2) その他の新しく開発されたところ	96
2 新しい村づくり	98
(1) うるおいのある村づくり	98
(2) 心ゆたかな村づくり	99
(3) 活力のある村づくり	100
(4) ふれあいのある村づくり	101

1

みんなで作る村



1 うつくしい村づくり

村の人たちは、うつくしい村にするために、どんなことをしているのでしょうか。



おんがの
雄滝



ひまわり

(1) 花いっぱい運動



花の世話をしているところ



花いっぱいの花だん



花いっぱいの花だん




花いっぱいの花だん



花いっぱいコンクールしんさ



しんさのようす

 村の花だんは、だれが、どのような世話をしているのでしょうか。

花地図をつくってみましょう。



(2) いろいろな活動

うつくしい村にするために、ほかには、どんな^{どりよく}努力をしているのでしょうか。



あかんひろ
空き缶拾い活動



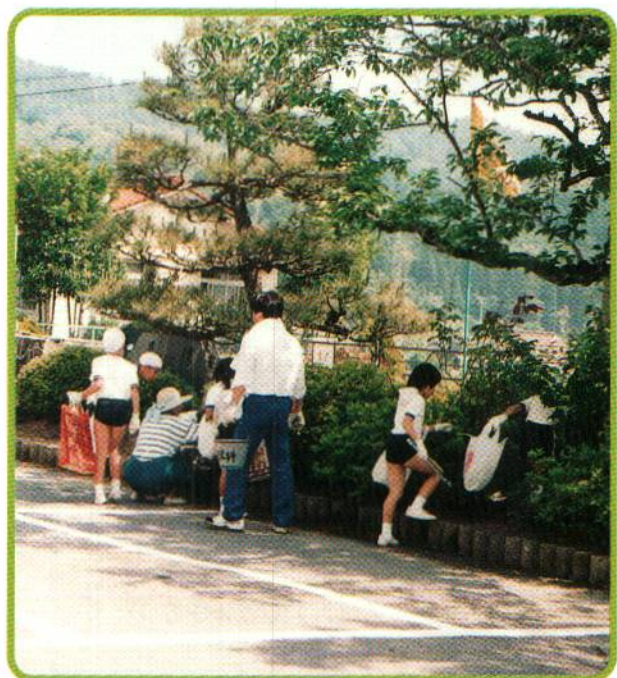
ほうし
子ども会奉仕活動



中学生による植林



きれいになって
気持ちいいね。



ごみ拾い活動

2 わたしたちの^{こうみんかん}公民館

(1) コミュニティセンター (福川公民館)



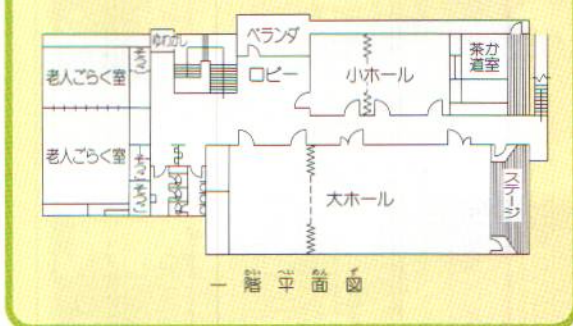
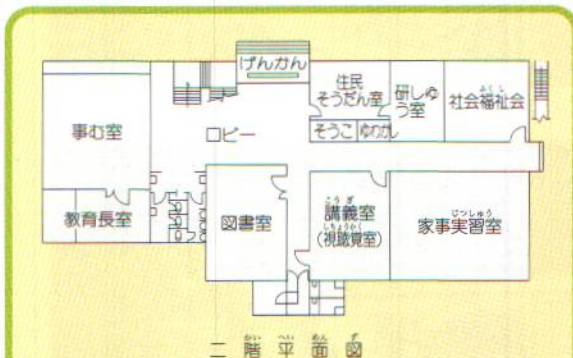
がいかん
外観



図書室



もちつき



館長さんの話

公民館は、みなさんのためにあります。ここでは、^{ちいき}地域の人たちが集まり、いろいろな活動をしています。こうした活動をとおして、地域の人びとのむすびつきが深まってほしいですね。



どんな人が、どんなことで、^{りよう}利用しているのでしょうか。利用しやすくするために、^{くふう}どんな工夫をしているのでしょうか。

(半田公民館)



えいかいわ
英会話教室



がいかん
外観

(2) のうぎょうにな ていくせい 農業担い手育成センター (紫福公民館)



外観



図書室



三世代交流



えびね^{てん}展

サークルしょうかい

●村のしゅみのグループ

グループ名	活動内容 <small>かいよう</small>
福栄村はいく同こう会	はいく
がじょうりゅう紫福同こう会	詩ざん
日本詩ざん学いん秋学風会	詩ざん
かん世会	よう曲・仕まい
がじょう会福井しづ	ぶよう
みやび会	ぶよう
紫福花の会	いけ花
福井いけ花教室	いけ花
生野いけ花グループ	いけ花
東宗ひまわり会	いけ花
ちくさ会	いけ花
むつみ会	いけ花
じゅ福会	いけ花
書道クラブ	書道
書道教室	書道
福井書道グループ	書道
京の会	書道
紫福園げいしゅみの会	園げい
コールさわらび	コーラス
紫福音楽同こう会	カラオケ
紫福カラオケぶよう同こう会	カラオケ・ぶよう
半田カラオケ同こう会	カラオケ
ドストリート	音楽
紫福ハーブ会	大正ごと
たんぼほの会	そう作
あみ物教室（モヘアの会）	あみ物
栗原よろず会	和紙げい
しび会	手げい
ポプリの会	手げい
おしゃれの会	そう作
コーヒーたいむの会	そう作
るーらるポテト	そう作
手話のグループ	手話
大板山たたら太こ同こう会	そう作和太こ
糸のみち	フランス刺しゅう
あいあいクラブ	あいぞめ

●村のスポーツのグループ

グループ名	活動内容
福川サッカースポーツ少年団	サッカー
紫福サッカースポーツ少年団	サッカー
福川バレーボールスポーツ少年団	バレーボール
紫福バレーボールスポーツ少年団	バレーボール
福栄村じゅう道スポーツ少年団	じゅう道
福栄村けん道スポーツ少年団	けん道
福栄クラブ	なんしき野球
紫福スポーツクラブ	バドミントン・バレー
福栄村ソフトボールきょう会	ソフトボール
福栄レディース	ソフトボール
こう球クラブ	ソフトボール
紫福サンダース	ソフトボール
福栄ゴルフクラブ	ゴルフ
福栄村つな引き同こう会	つな引き
福川クラブ	バレーボール
紫福クラブ	バレーボール
福川インディアカクラブ	インディアカ
紫福インディアカ同こう会	インディアカ
たっ球クラブ	たっ球
紫福ゲートボールクラブ	ゲートボール
福川ゲートボールあいこう会	ゲートボール
半田ゲートボールクラブ	ゲートボール
福栄村ぶ道しんこう会	じゅう道・けん道
バドミントンクラブ	バドミントン
ソフトバレーボール同こう会	ソフトバレーボール



りょうり
料理教室



いけ花教室

りょう
利用している人の話



公民館のおかげで、いろいろな活動を行うことができます。



とうげい
陶芸教室



おし花はがきづくり



見学メモ

3 村のいろいろなしせつ

村内には、いろいろなしせつがあります。どんな人が、
どんなことで利用しているのでしょうか。



ほけん
保健センター



のうぎょう
農業かんりセンター



福川しんりょう所



紫福しんりょう所



そんみんたいいくかん
村民体育館



村民グラウンド



公会堂 (扇町地区)



(黒川地区)



福栄村には、このほかには、どんなしせつがあるか調べてみましょう。



メモ

2

わたしたちの村のようす

1 学校のまわりのようす

学校のまわりをたんけんしてみましょう。

(1) 福川小学校のまわり

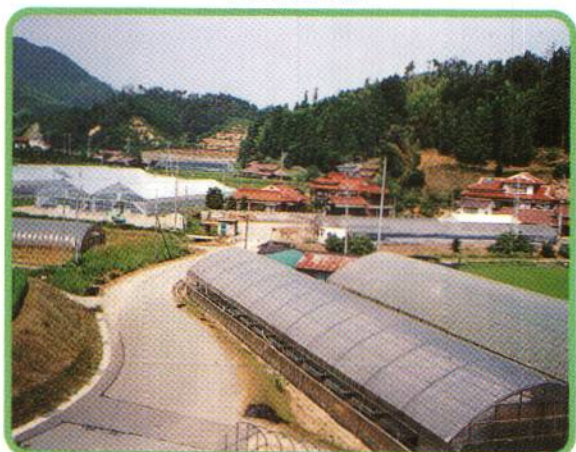




福栄村役場



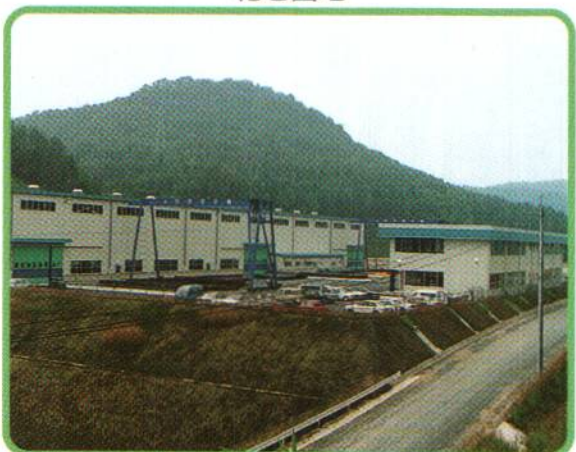
福栄中学校



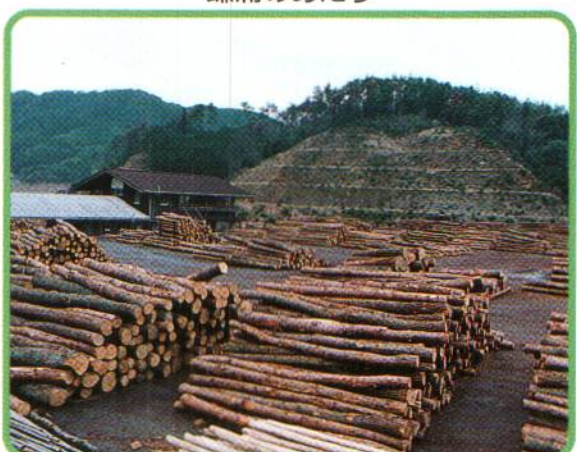
かだんち
花き団地



かまうら
鎌浦のあたり



てっこう
鉄工団地



ざい
木材市場

(2) 紫福小学校のまわり





ちゅうざい所



百円市場



紫福保育園



紫福郵便局



JA阿武紫福支所



ガソリンスタンド

2 村全体のようす

村の田や畑はどんなようすでしょう。

(1) 福川地区



なす



米



はくさい
白菜



花

(2) 紫福地区



メロン



かき



ぶどう



たばこ

(3) ガイドマップづくり

福栄村は、どんな村でしょうか。



竹



えびね



かぐら
神楽



ダム

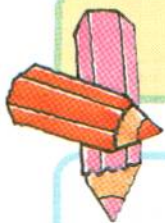


はぎやき
萩焼



しょうゆ工場

ガイドマップを作ろう。



3

わたしたちの暮らしと商店

1 買い物調べ

わたしたちの家では、どこでどんな物を買っているのでしょうか。



近くの商店



自動車ですりにくる店



スーパーマーケット



おとふし 秋市の商店街

1 週間の買い物調べ

	近くの商店	自動車で 売りにくる店	ショッピングセンター やスーパーマーケット	商店街
／ (日)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (月)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (火)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (水)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (木)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (金)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
／ (土)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

- 食べ物, 飲み物
- 着る物, はく物
- 日用品
- 文房具, 本
- 家具, 電気器具
- そのほか



2 近くの店

近くには、どんな品物を売る店があるでしょう。



JA店内

近くにある商店調べ

地区名	商店名	売っている品物の種類 ^{しるい}

商工会のおじさんの話



福栄村内には、23の商店のほかに多くの事業所があります。この人たちを中心に福栄村商工会をつくっています。

商工会では、村の新しい特産品^{とくさんひん}づくりをしたり、毎年行われる『ふるさとまつり』や、平わらび台で行われる『わらびつみツアー』・『いもほりツアー』や12月の『シクラメンフェア』などに参加^{さんか}して、村にたくさんの方が来てくれるようにがんばっています。また、パソコンの勉強会^{ほうし}をしたり、奉仕活動なども行っています。



ふるさとまつり



わらびつみツアー

3 スーパーマーケット

スーパーマーケットが、よく利用^{りよう}されているのはどうしてでしょう。



食料品



衣料品



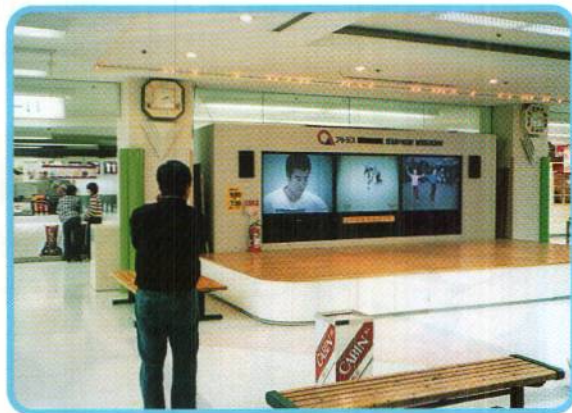
日用品



薬

スーパーマーケットでは、品物がよく売れるように、
どんな工夫をしているでしょう。







店長さんの話

お客さんに喜んで買い物をしてもらえるように、カードを発行して、得点によって値引きをしています。

また、安心して買い物をしてもらうために、鮮度のよい物を安く売るようにしたり、選びやすいように商品の量を1～3人用のパックづめにしたりして工夫しています。

このほかに、近くでとれる野菜や魚、近くでつくられるかまぼこやとうふなど地元のおいしい物も買ってもらうようにしています。

数年前から、ほかのお店と協力して、総合ショッピングセンターづくりに取り組んできました。ここに来れば、何でもそろえるようにしています。



ポイントカード



総合ショッピングセンター

4 はぎ がい 萩市の商店街



田町商店街

田町商店街しんこう組合では、お客さんをたくさんよぶために、どんな工夫くふうをしているでしょう。



田町商店街しんこう組合のおじさんの話

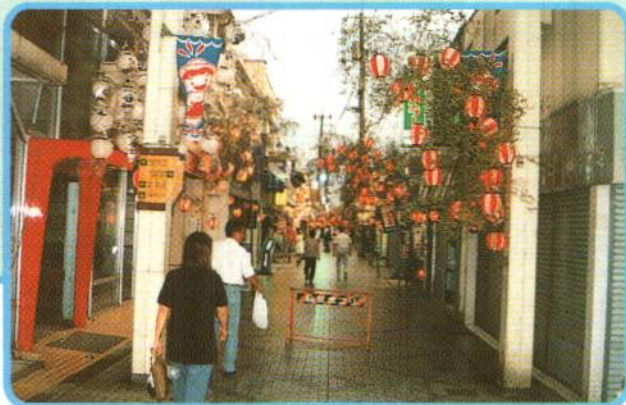
田町商店街しんこう組合は、およそ70けんの商店でつくっています。組合では、たくさんのお客さんに来てもらうために、大売り出しの係やスタンプの係やアーケードの係などをつくっています。

大売り出しは、七夕まつり、土曜夜市、いしん文化祭など、年に7回ぐらい行っています。その時には、アーケードにかざりつけをしたり、いろいろなもよおしをしたり、サービスけんのスタンプをたくさん出したりして、お客さんに楽しみながら買い物をしてもらうようにしています。広告は、萩市だけでなく、周辺の阿武町、むつみ村、福栄村、川上村、旭村、三隅町、そして、となりの長門市の方まで、およそ32,000まいを配っています。

また、ほとんどの人が乗り物で買い物に来ます。組合では、商店街のちゅう車場をつくって、無料ちゅう車けんのサービスも行っています。

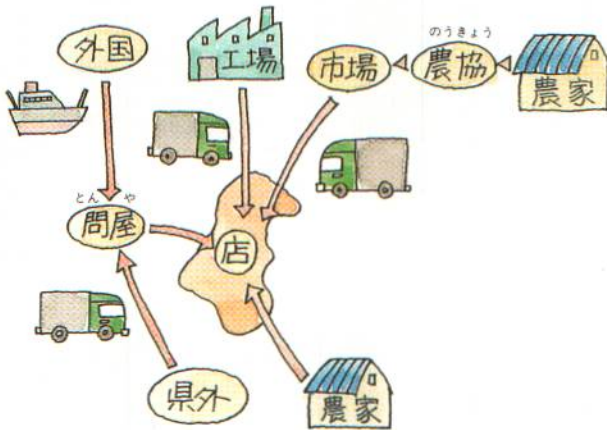


スタンプ



5 品物が生まれたところ

店で売られている品物は、どこでつくられ、どうやって運ばれてくるのでしょうか。



いろいろな産地の品物

6 買い物の工夫

買い物をするとき気をつけていることは、どんなことでしょうか。



栄養成分		カップ1杯分(200ml当り)	1日当たりの摂取量に 対する割合
エネルギー	133 kcal		6.7%
たんぱく質	6.3 g		10.5%
脂質	7.6 g		15.2%
炭水化物	9.8 g		3.3%
ナトリウム	89 mg		2.2%
カルシウム	217 mg		33.4%

※ 表の栄養成分値は年間の平均的な値です。

種類別	牛乳	(公)
商品名	明治牛乳	
無脂乳固形分	8.3%以上	
乳脂肪分	3.5%以上	
殺菌	130C 2秒間	

4

わたしたちのくらしと物をつくる仕事

1 村の農家でつくっている物

福栄村では、^{のうさんぶつ}どんな農産物がつくられているのでしょうか。



米



たばこ



はくさい
白菜



メロン



ぶどう



なすび

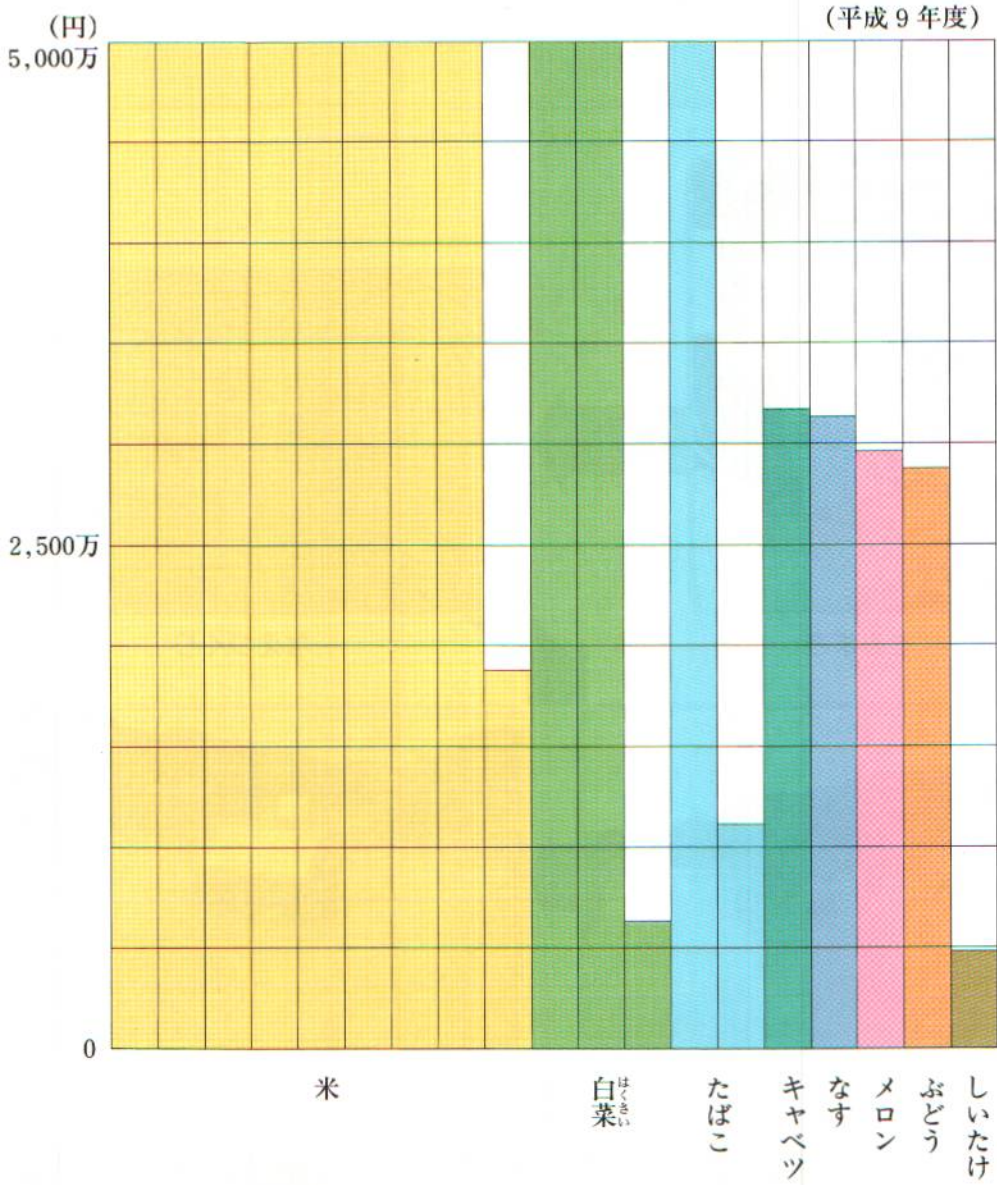


キャベツ



しいたけ

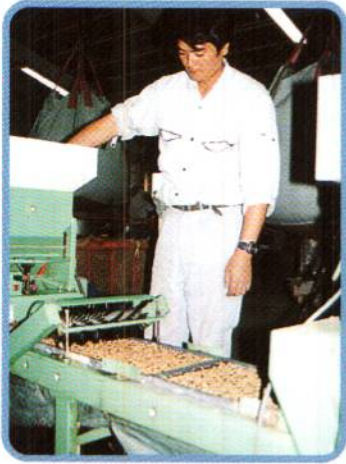
農産物の生産額 せいさんかく



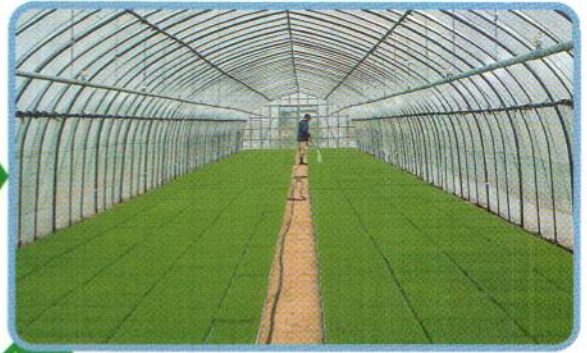
福栄村で、米や白菜がたくさんできるのはなぜか調べてみましょう。

(1) 米をつくる

おいしいお米をつくるために、どんな工夫くふうをしている
のでしょうか。



もみまき



なえづくり



しろかき



田植え



水の管理かんり



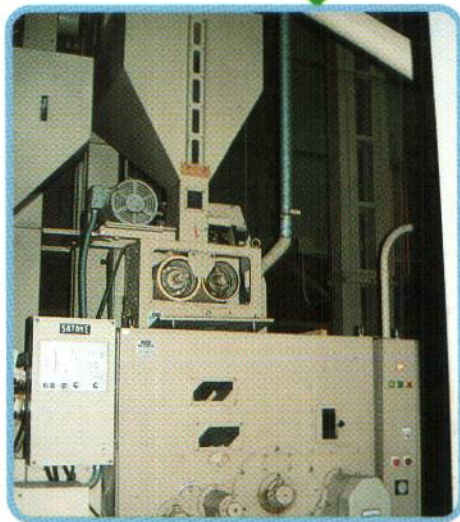
しょうどく
消毒



いねかり・だっこく



かんそう (ライスセンター)



もみすり (ライスセンター)

農家のおじさんの話

おいしいお米をつくるために、

- ① 肥料^{ひりょう}をやり、土づくりをし、健康^{けんこう}な根をつくる。
- ② 種^{たね}の消毒^{しょうどく}を行い、健康ななえづくりをする。
- ③ ちょうどよい肥料と水をやり、たおれないいねをつくる。
- ④ 一本のほの90%が黄色になったらかりとる。
- ⑤ 水分^{りょう}量 14~15%くらいまでかんそうする。

など、食べる人々に喜んでもらえるように努力^{どりよく}しています。



米づくりのこよみ



月	主 な 作 業
3月	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	

(2) はくさい 白菜をつくる

たくさんの白菜をつくるために、どんな工夫くふうをしているのでしょうか。



しゅうかく

農家のおじさんの話



おいしい白菜はくさいを育てるには、畑たいひにたくさんの堆肥たいひや肥料ひりょうをあげて、大切に育てます。白菜を植える前に、畑一面に「シルバーマルチ」というビニールを貼はります。これは、白菜に虫が来て葉を食べないようかんさつにするためです。後は、毎日観察ひつようして、必要な時に消毒しょうどくすると、秋にはきれいな白菜ができます。

白菜づくりのこよみ

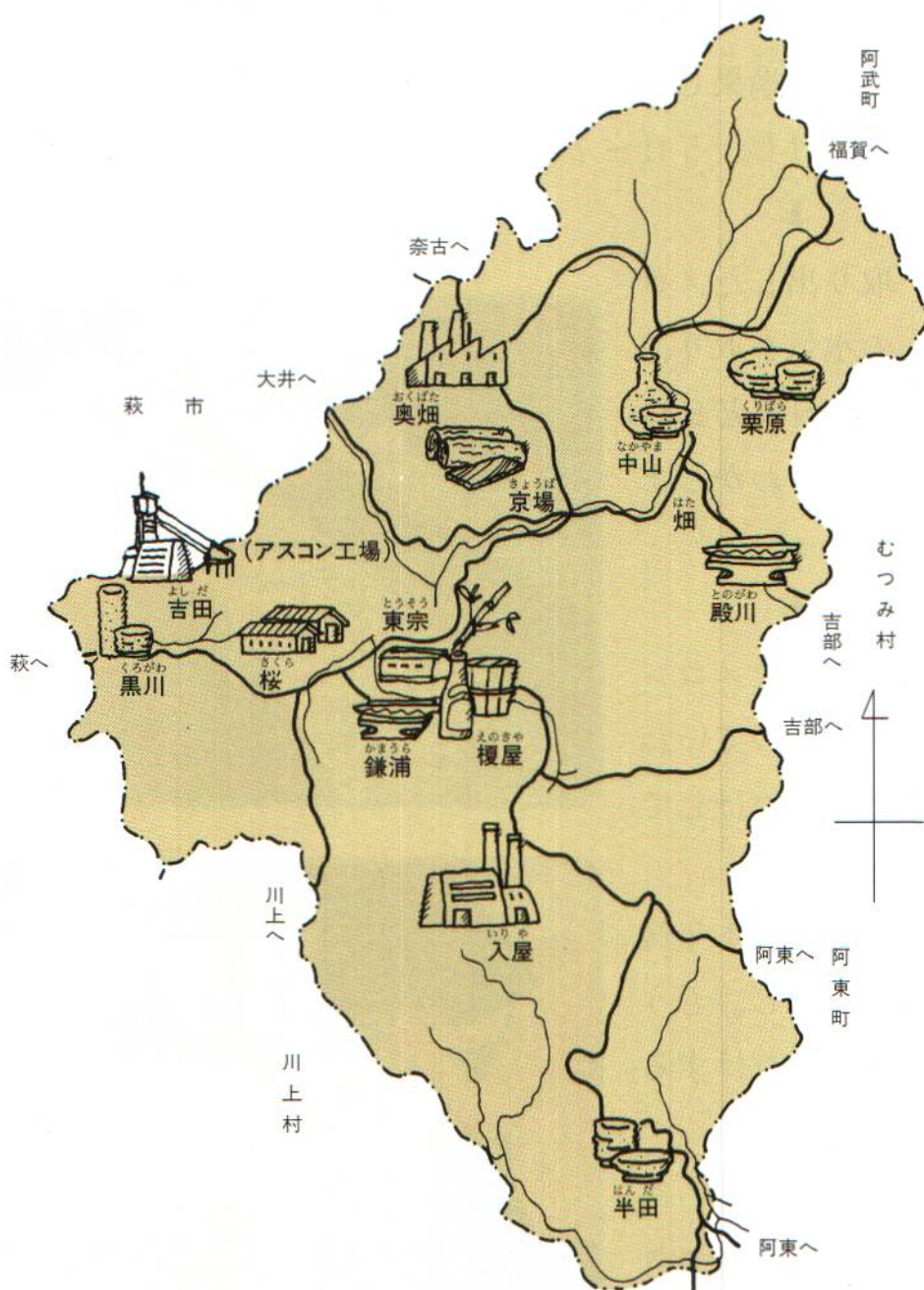
月	おもな作業
1 月	*土づくり
2 月	
3 月	・種まき
4 月	・植えつけ *畑づくり
5 月	*消毒
6 月	・しゅうかく
7 月	・種まき *土づくり
8 月	・植えつけ *畑づくり
9 月	*消毒
10 月	・しゅうかく
11 月	
12 月	



そのほかの農産物のうさんぶつについても調べてみましょう。

2 村の工場で作っている物

福栄村には、どこにどんな工場があるのでしょうか。



川上へ 山口県須佐線 (県道 10号)

工場では、どんな物をつくっているのでしょうか。

(1) ^{のうさんぶつ} ^{かこう} 農産物を加工する工場（メロンのかすづけ）

- ① 農家で摘果^{てきか}したメロンを半分に切り、種^{たね}をのぞきます。それを塩^{しお}づけし、5日～7日おきます。



- ② 取り出したメロンの水気を取り、外で半日ほど日にほしてかわかします。

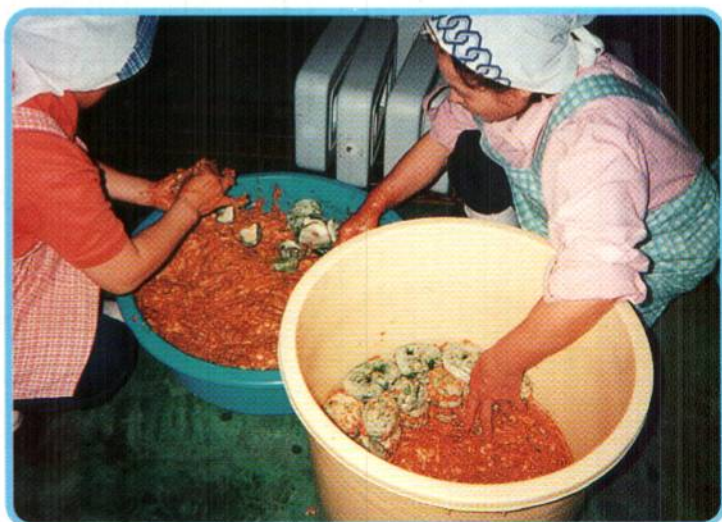


- ③ かわいたメロンは一つずついねいにかすづけしていきます。

* 3ヵ月～1年後に取り出し、もう一度かすづけする。



- ④ 1ヵ月くらい後に取り出すとでき上がります。

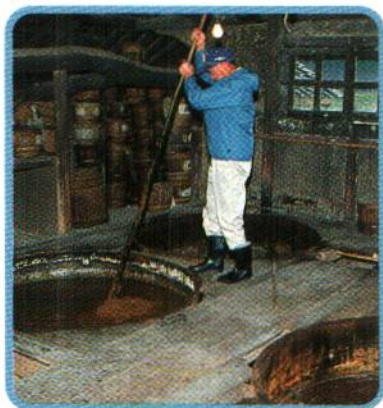


工場の人のお話

工場では、村の農産物のうさんぶつを使って、つけもの、みそ、ジャムなどを作っています。すべて手作りなので、作るたびに味がか変わらないように、塩しおやさとうりょうの量りょうに気をつけています。また、材料ざいりょうがしゅうかくてんこうされる時期や天候によって加工する日を決めています。



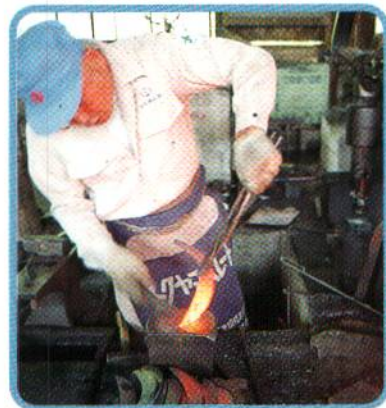
(2) そのほかの工場



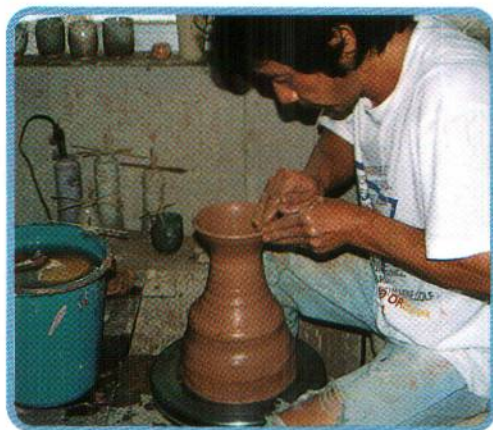
しょうゆ工場



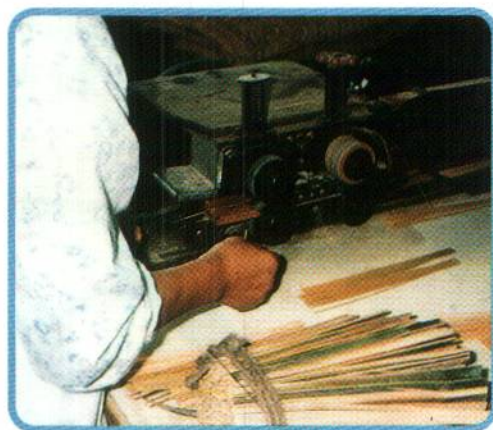
かせい
化成工場



かじや



やもの
焼き物



竹工場

5

がわってきた人びとの暮らし

1 学校のうつりかわり

今の学校とくらべて、どんなところがちがっていたのでしょうか。

(1) 福川小学校のうつりかわり



半田小学校



平蔵分校



山崎分校

前の福川小学校 (鎌浦)



今の福川小学校 (東宗)



鳴尾分校



黒川分校

②紫福小学校のうつりかわり



よこがい
横貝分校あと地

前の紫福小学校



ほりごし
堀越分校あと地



ながお
長尾分校あと地

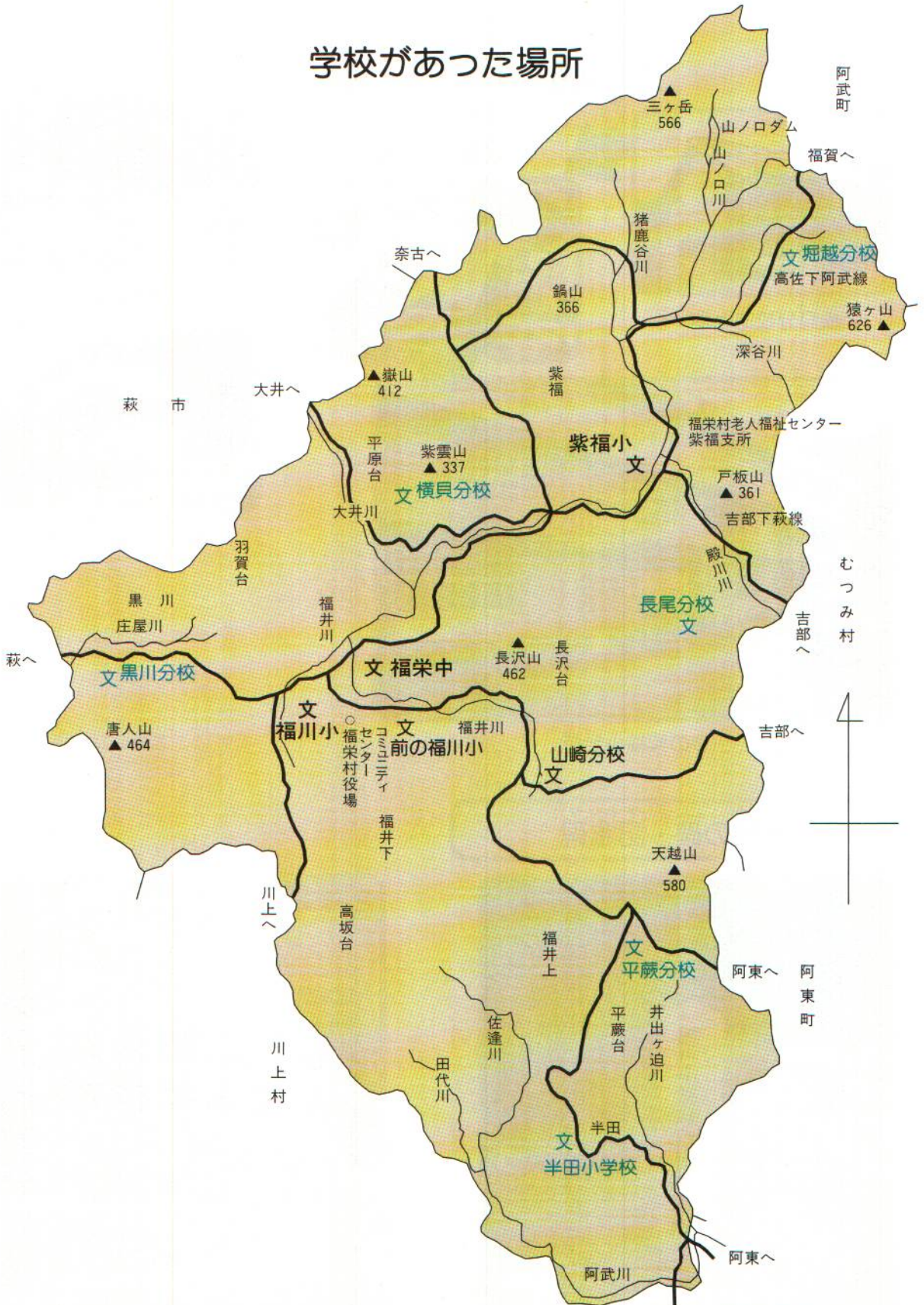


今の紫福小学校

はいこう ひ きねん ひ
廃校の碑・記念碑



学校があつた場所

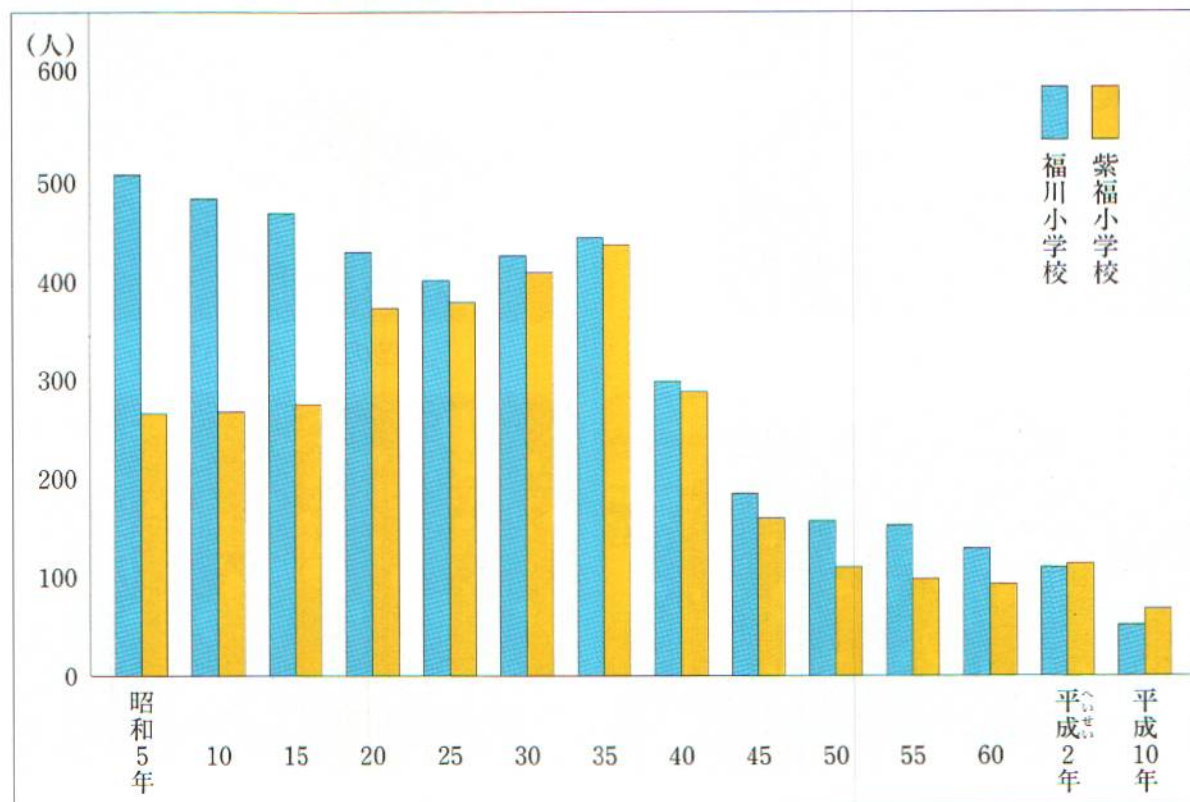


川上へ 山口県須佐線 (県道 10 号)

(3) 児童数のうつりかわり

福川小学校や紫福小学校が1つになるまでに、児童数はどのようにかわっていったでしょう。

福川小学校、紫福小学校の児童数のうつりかわり



..... グラフを見て気がつくことをまとめてみましょう。



昔の学校では、どんな用具を使って勉強していたのでしょうか。



昔の教科書



昔のつくえ、いす



大正14年3月の卒業生



昭和7年3月の卒業生



昭和26年3月の卒業生

ふだん着は、自分の家でわたをつむいで「はた」でぬのをおったものでした。はきものは、げたやぞうりでした。

60年くらい前から、洋服を着るようになり、くつやズックをはくようになりました。

2 暮らしのうつりかわり

そのころの人々の暮らしはどんなようすだったのでしょうか。

(1) 昔の道具

古い道具はどのように使われていたのでしょうか。



かまど



いろり

ふく太郎さんの話

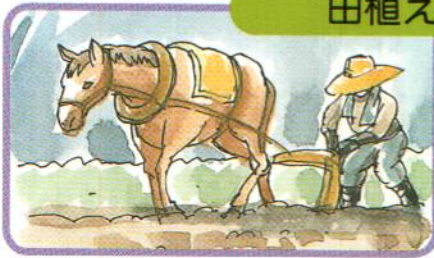
ガスや電化製品せいひんがなかったころには、ごはんをたくのにもまきをかまどでもやしてたいていました。飲み水は、山水を引くか、井戸いどをほってつるべくみあげていました。今はほとんどの家がポンプや上水道を使っています。今の時代は、本当に便利べんりになったと思いますね。



(2) 農家の仕事

農家の仕事は、今とくらべてどんなちがいがあったのでしょうか。

田植えのようす



紙すきのようす



ふく太郎さんの話

田や畑は、牛や馬にまぐわを引かせてたがやし、だっこくには千刃こぎやとうみを使い、精米は、だいがらや水車を使ってしました。物を運ぶ時も、牛や人の力にたよっていたので、とつてもつらい仕事でした。田植えやいねかりなどは、何けんかの農家が協同でなければ、間に合いませんでした。子どもから年よりまで家族みんなで協力して仕事をしていたなあ。



(3) 福栄村の100年のあゆみ

福栄村のようすや人びとのくらしのようすは、この100年の間にどのようにかわってきたのでしょうか。

①農業がかわったころ（80～100年前）



今から100年くらい前からいせきをよくしたり、水路をつくったり、田の排水をよくしたりして、田をよ



くした。

米を作ったあと麦も作るようになった。畑に桑を植えて蚕をかうようになり、山にはすぎ、ひのきなどを植林し、紫福地区で白菜が作られるようになった。

ふく太郎さんの話

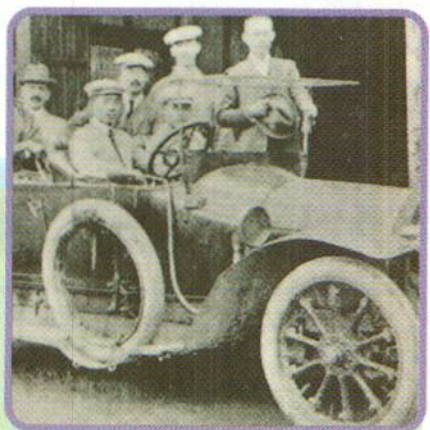
昔の田は、たな
田で、米作りは手
がかかり苦労が多
い仕事でした。し
かし、農業の進歩
や農業機械を使う
ことで、だんだん
人出がからなくな
りました。また、
たな田を広くて形
のよい田にかえて
いき、大きい機械
も、今では使える
ようになっていま
すね。



②電灯がついたころ（60～80年前）

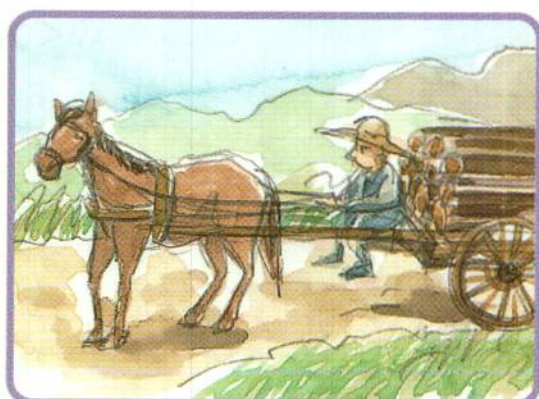
村に初めて電灯がともったのは、今からおよそ80年前の大正5年のことでした。それまで夜の明かりは、油をつかうあんどんやカンテラ、ランプだったのです。

また70年ぐらい前に、萩まで自動車が行き通るようになりました。しかし、道路もせまく、でこぼこ道でした。



ふく太郎さんの話

昔は、今のような大きなよい道がなく、小さくてまがりくねった道だった。バスもなかったの、みんな歩いて行ききしていたんだよ。萩や山口に行くにも、おにぎりをもって、わらじやぞうりをはいて歩いたものさ。米や木材は、馬や馬車ではこばれていたんだよ。



③戦争せんそうがはげしかったころ（40～60年前）

昭和16年（およそ55年前）、日本はアメリカやイギリスを相手に戦争を始め、福栄村からもたくさんの人が、兵士へいしとして戦場へ出ていかなければなりませんでした。

戦争が、はげしくなるにつれ、村の生活のようすも少しずつかわってきました。

農家では人出が足らなくなりました。日本中の食べ物も少なくなつてこまるようになり、畑くわで桑作りやたばこ作りをやめてきつまいもやかぼちゃや豆を作りました。学校の運動場も、いも畑にかわつたくらいです。

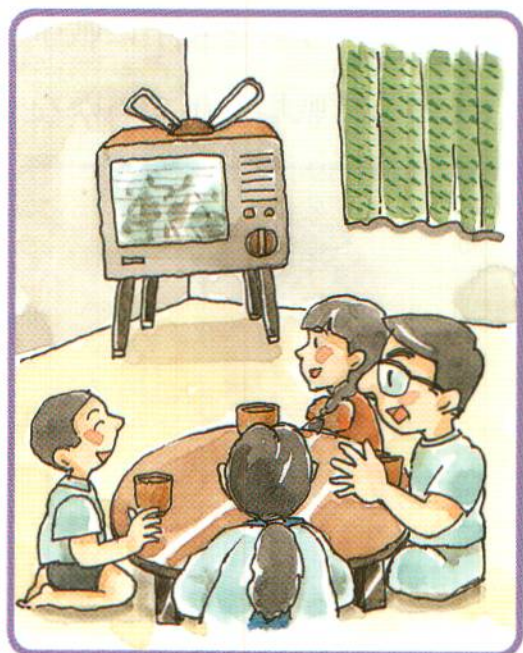


ふく太郎さんの話

村のわかい者は戦争に行ってしまったので村には女と子どもと年よりだけでした。子どもは学校に行っても農作業ばかりしていました。生活はだんだん苦しくなっていました。



④村にテレビがはいったころ（20～40年前）



日本が、戦争から立ちなおって、村もしだいに活気を取りもどしてきました。自動車もふえ、農業機械きかいも次々によいものができるようになりました。農家の仕事も大きくかわってきました。人出があまるようになって兼業農家けんぎょうがふえました。米作りも上手になって、米があまる時代になりました。

テレビをみる人がふえてきました。このころのテレビはまだ白黒で小さかったけど、えいぞうが見えることがおどろきで人々のくらしに大きなえいきょうをあたえました。

このころ、学校の校舎こうしゃが鉄筋コンクリートになったり、集団電話がついたり、有線放送が始まったりしました。みんなの生活がどんどん便利べんりになっていきました。



⑤山ノロダムができたころ（10～20年前）



山ノロダム

昭和58年 山ノロダムが完成しました。

福栄村は、大井川、庄屋川、阿武川の上流にそった川ぞいにあり、大雨がふるたびに水害にあっていました。その被害は、道路、河川、

家、田畑におよび人々は大変こまりました。ダムの完成により、このような水害が防げるようになりました。

紫福地区、福川地区のしんりょう所、農業担い手育成センター、老人福祉センター、村民グラウンド、村民体育館、紫福小学校屋内運動場、滝の里キャンプ場、紫福バイパス。これらのしせつが次々につくられ便利で安心して生活できる村へとかわってきました。

げんざいでは、道の駅とよばれる「ハピネスふくえ」も完成し、村内外の人々がつどう大切な場所となっています。

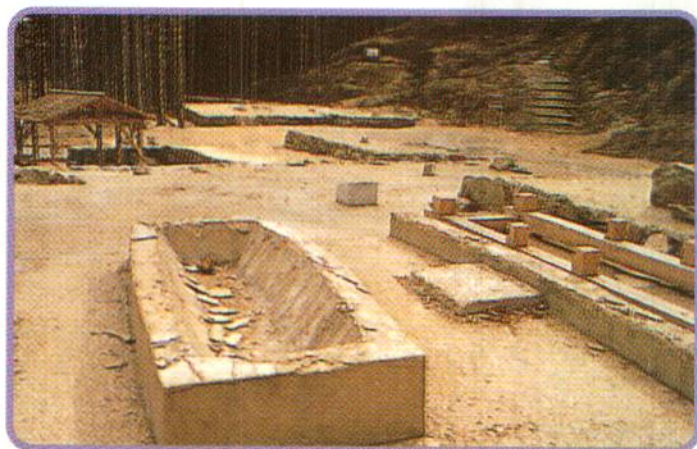


村民体育館

3 村の古いものさがし

村に古くから残^{のこ}っているものは、昔のどんなようすを
つた^{つた}伝えているのでしょうか。

(1) 昔のようすを伝えるもの



おおいだ せいいてつ いせき こにしみ
大板山たたら製鉄遺跡(小西見)



がんぎょうじたちきやくしによらいぞう えのきや
願行寺立木薬師如来像(榎屋)



もんじゅぼきつきしぞう ぶっこうじ
文殊菩薩騎獅像(仏光寺)



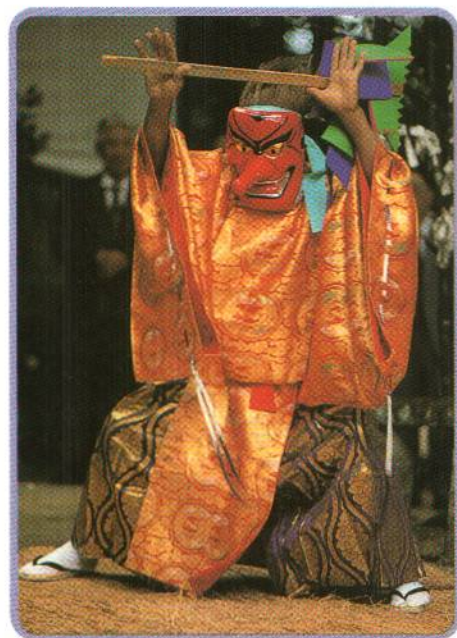
じゅうたく
森田家住宅(黒川)

(2) 昔から^{つづ}続いている行事

昔から続いている祭りや行事には、どんな言いつたえや
人びとの願^{ねが}いがこめられているのでしょうか。



もんじゅ
文殊まつり



うえのやましし
上野山獅子舞



紫福にある上野山八幡宮^{はちまんぐう}の春と秋のお祭りの
時にけいだいで行われる獅子舞^{ししま}いは、江戸時代に
始まったものである。地元の青年たちに受け
つがれ今でも勇壮^{ゆうそう}な舞いを見ることができる。

ぶっこう じもんじゅどう
仏光寺文殊堂の
ぼさつ きしぞう
文殊菩薩騎獅像は、
25年に1度見るこ
とのできる菩薩像
で、最近^{さいきん}は平成4
年に見ることがで
きました。その仏
光寺で4月25日と
8月24日に「いし
ょうくらの紫福
の文殊」とうたに
もある美しく着か
ざっておまいりを
する人でにぎわう
まつりがあります。

6

住みよいくらしをさせる

1 わたしたちのくらしと水

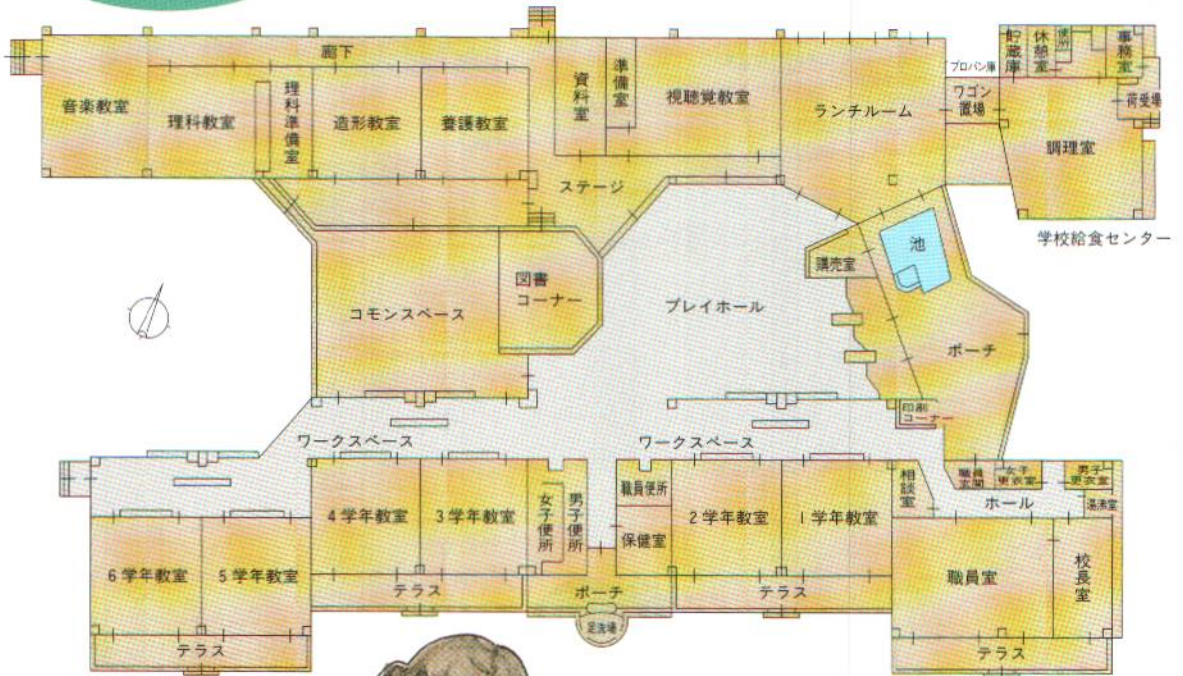
わたしたちのくらしの中で、どんなことに、どのくらいの量の水を使っているのでしょうか。



(1) 学校で使われる水

学校の水はどこからきているのでしょうか。

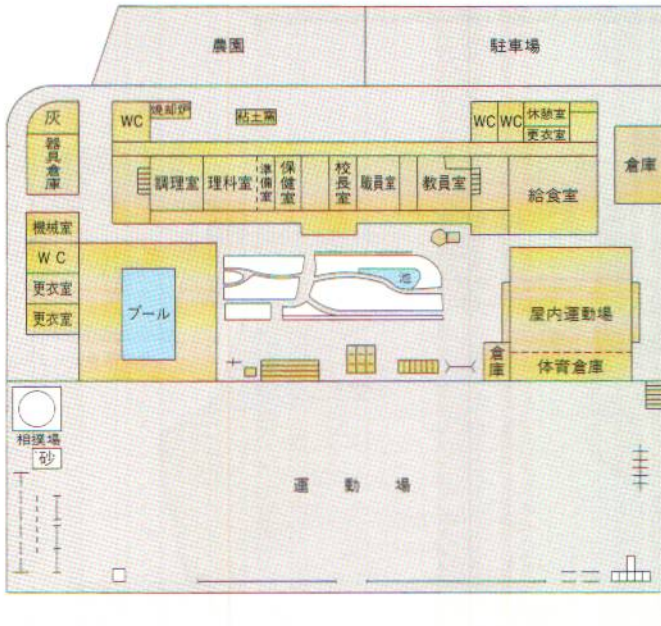
福川小学校



学校には、じゃ口がいくつあるか、地図にかきこんでみましょう。



紫福小学校



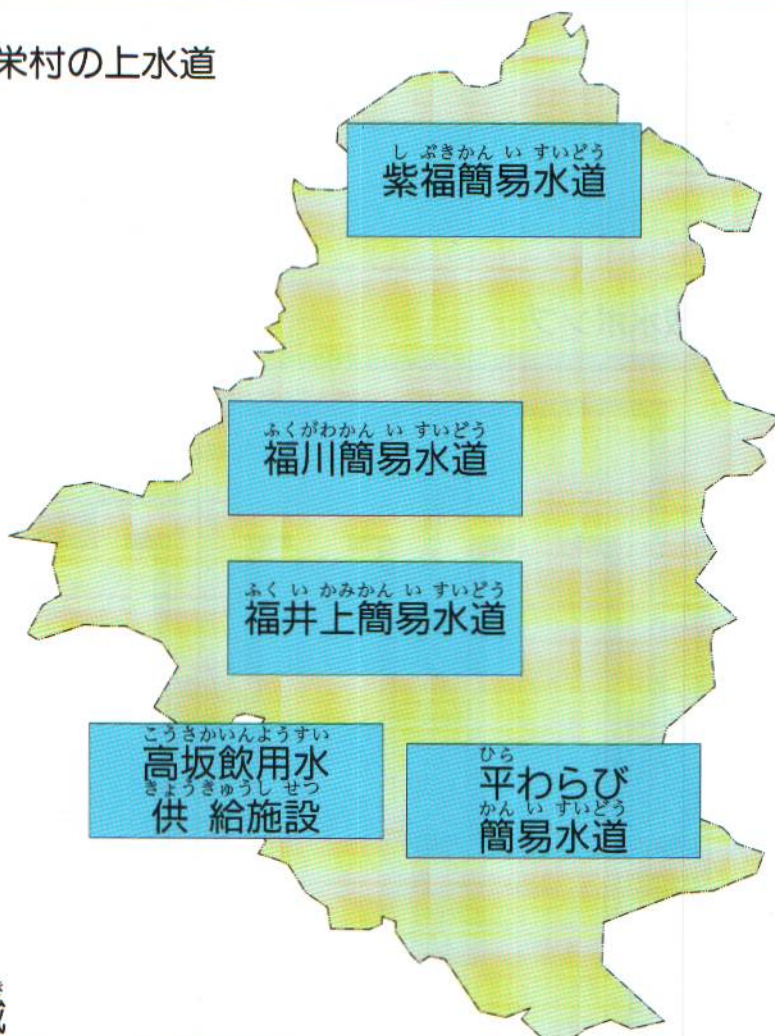
学校には、じゃ口
がいくつあるか、
地図にかきこんでみ
ましょう。



(2) 村で使われる水

水道の水は、どこからきているのでしょうか。

福栄村の上水道



給水区域

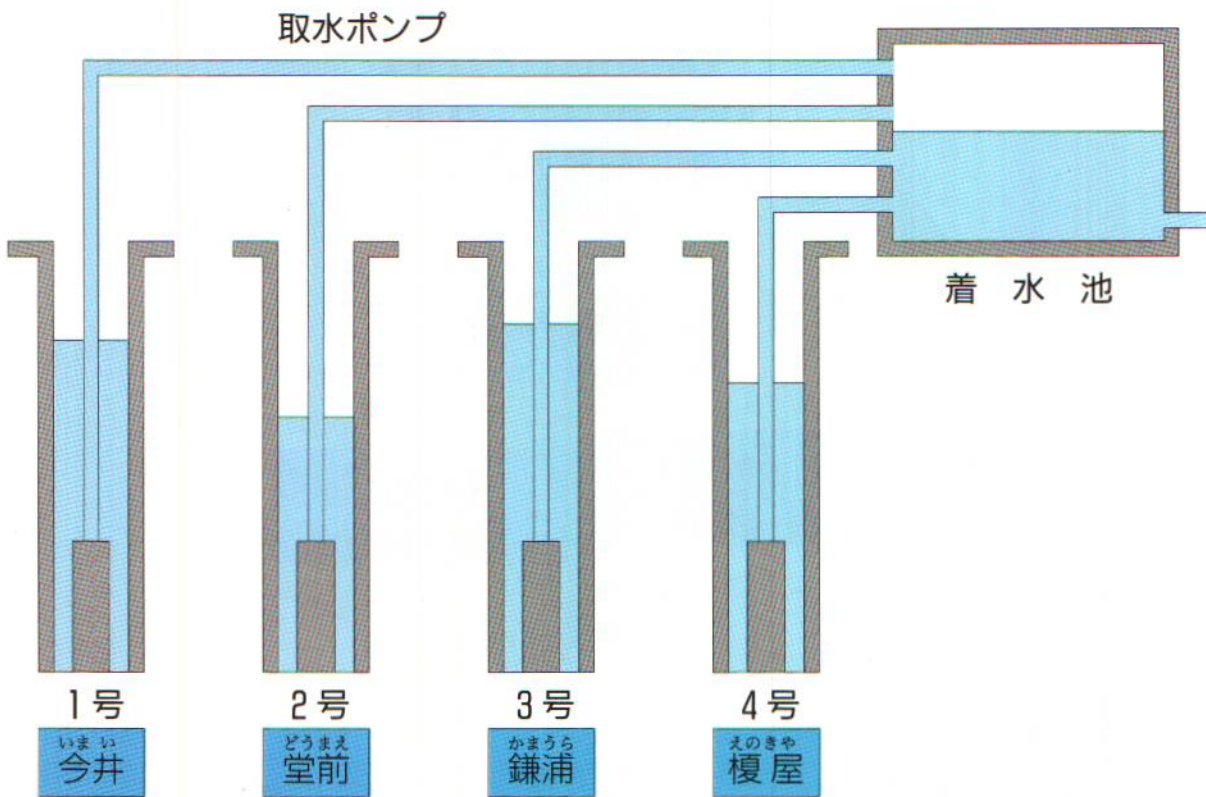
区分	給水区域
紫福簡易水道	ほりごし くりばら こにしみ いち たなか なかやま おのだ おくばた ひらばら よこがい 堀越、栗原、小西見、市、田中、中山、小野田、奥畑、平原、横貝、 きょうば だんいま きなが たおき ながい はたとのがわ なお すぎわら どうが いち やま 京場、壇今木、永田沖、永井、畑、殿川、長尾、杉原、堂ヶ市、山 だ わかいやま 田、向山
福川簡易水道	どうがきこ うぶの さくら みたけ おうぎまち とうそう にしぞう かまうら えのきや べっしょ おし 堂ヶ迫、生野、桜、金峰、扇町、東宗、西宗、鎌浦、榎屋、別所、押 ばら にほだに かみむしろの しむしろの くらがわ よしだ 原、仁保谷、上筵野、下筵野、黒川、吉田
福井上簡易水道	いりや やまさき ぶんじゃ 入屋、山崎、文捨
平わらび簡易水道	つるがたに ひらわらびだい ほんだ わぎだに 鶴ヶ谷、平蕨台、半田、麦谷
高坂飲用水供給施設	かぶね こうざか 蕪根、高坂

(3) かんい 簡易水道のしくみ

福川簡易水道をみてみましょう。

福川取水場

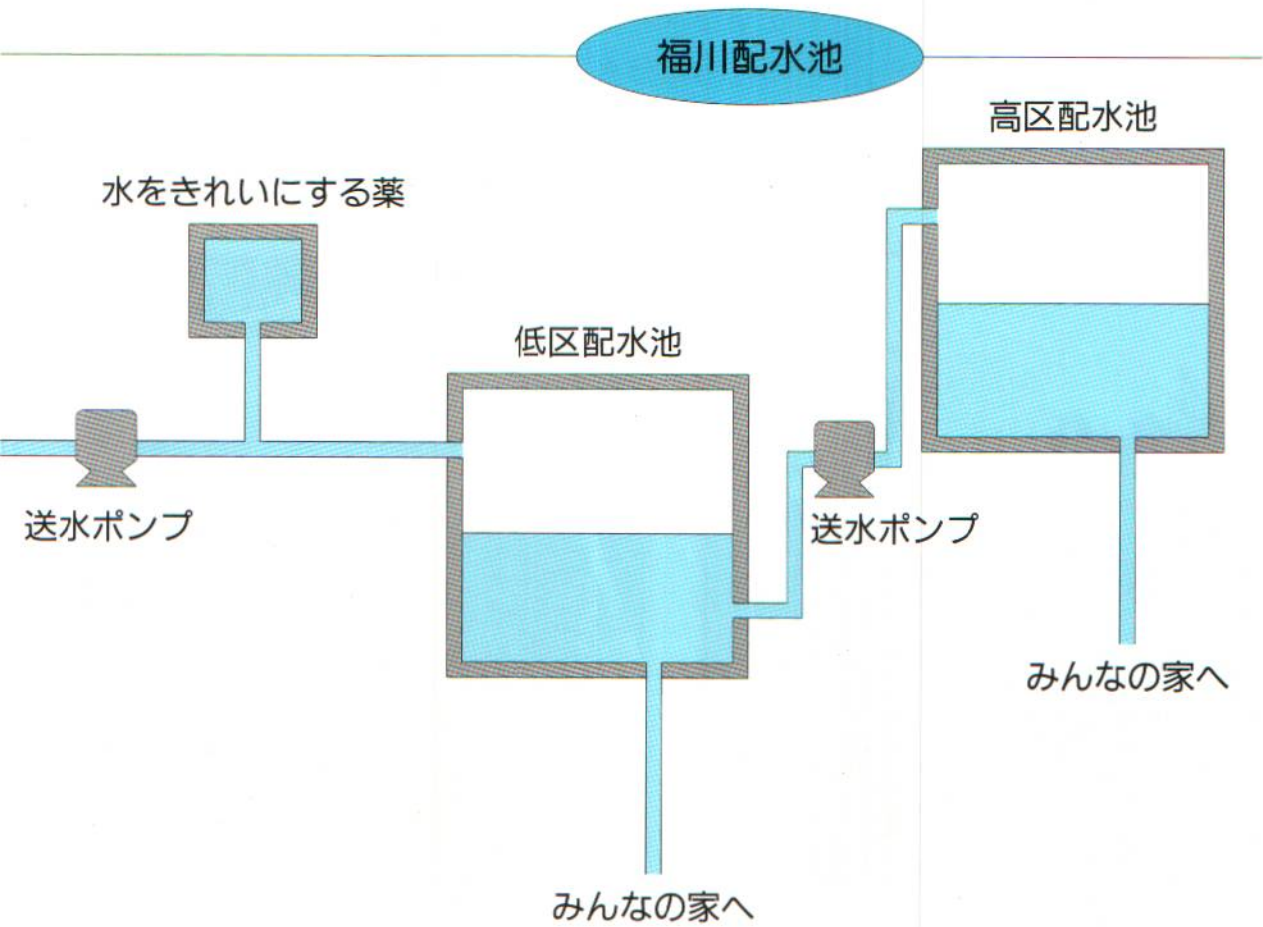
福川浄水場 じょうすいじょう



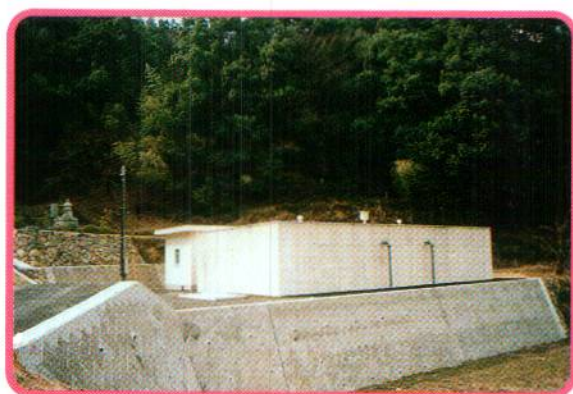
1号ポンプ



浄水場 着水池



送水ポンプ



低区配水池



役場の人の話

水道は、飲用水、農作物のさいばい、^{かちく}家畜の飼育^{しいく}などのほか、消火用水としても利用されています。このように水道は私たちの生活に欠くことのできないしせつです。げんざい、村が整備中^{せいびちゅう}の水^{いど}道は、いままでの井戸水など^{いど}とくらべると、いつでも安全な水を十分な量を配ることができるようにしてあります。しかし、そのためには多くの費用がかかっています。みなさんで水を大切にしていきましょう。



給水タンク



いがわ

昔は、山水を使ったり井戸水を手おしポンプでくみ上げたりしていたところもあったそうです。



井戸



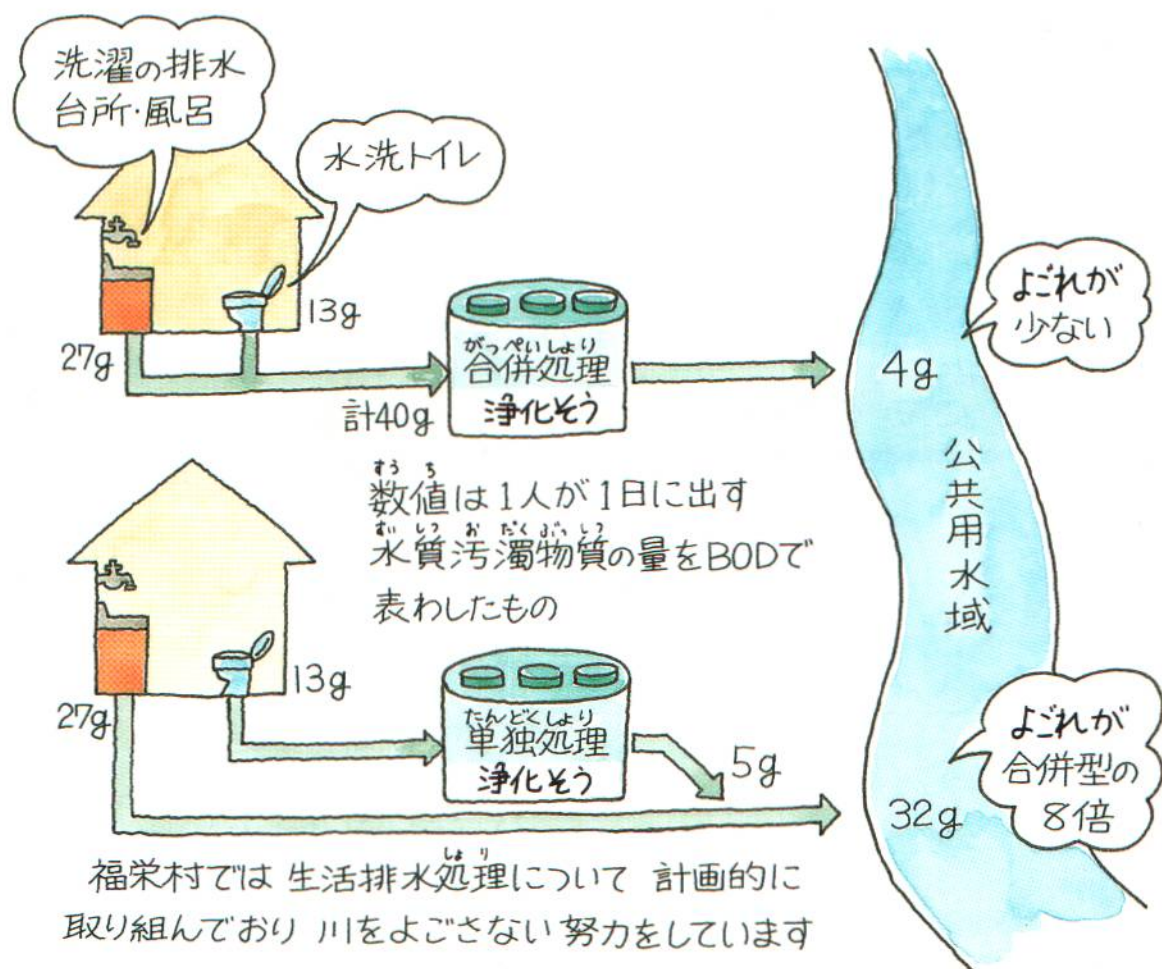
手おしポンプ

(4) 水のゆくえ

わたしたちが使った水は、どこへ行くのでしょうか。

家庭から出るよごれた水（生活排水^{はいすい}）は大きく2つに分かれます。

- (1) 台所、風呂、せんたくなどの排水
- (2) 水洗^{すいせん}トイレ



川や海をよごさないために、わたしたちができることを話し合ってみましょう。




2 わたしたちのくらしとごみ

わたしたちのくらしの中で、出てくるごみついて調べてみましょう。

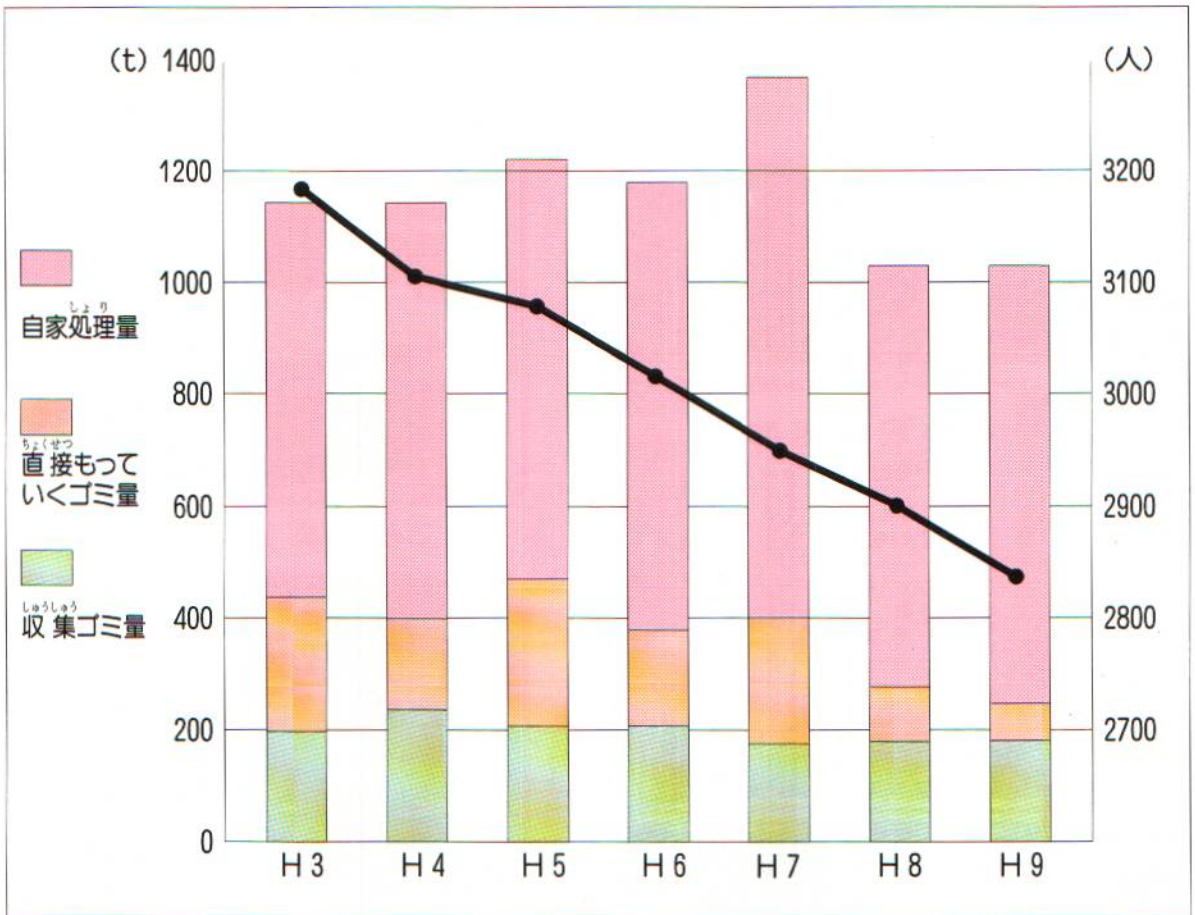
(1) ごみの種類と量

わたしたちの家から、どんなごみが、どのくらい出ているか調べてみましょう。

1 週間のごみ

	ごみの種類	ごみの量
もやせごみ		ごみぶくろに <input type="text"/> ぶくろ  
もやせないごみ		ごみぶくろに <input type="text"/> ぶくろ  
しげんごみ		ビン類 <input type="text"/> 本  カン類 <input type="text"/> 本 

集められたごみの量と人こうのうつりかわり (福栄村役場調べ)



ごみ収集ぶくろ



あかんかいしゅう
空き缶の回収

(2) ごみを集める

ごみは、だれが、どのようにして集めているのでしょうか。



ごみ収集日表



ごみ収集車 (ダンプカー)



ごみ収集車 (パッカー車)



ごみを集める人の話

生ごみの水がよくきってなく、水分が多いごみがあったり、もえるごみの中に、ビンやカンが入っていたり、集積所に決められた日以外の日にごみを出したりということが、最近よくあります。それで、始末するのに手間や時間がかかってこまります。ごみを出す人に、きまりをぜひ守ってもらいたいものです。また、ごみができるだけ少なくなるようにひとりひとりが心がけてほしいものです。

(3) ごみの行き先



はぎせいそう ちんとう
萩清掃工場 (椿東)



もえるごみは、萩清掃工場へ運ばれます。この清掃工場には萩市と3つの町、4つの村のもえるごみも運ばれます。

もえないごみは、^{ふねんぶつ}不燃物うめたて^{しょぶん}処分場へ運ばれます。



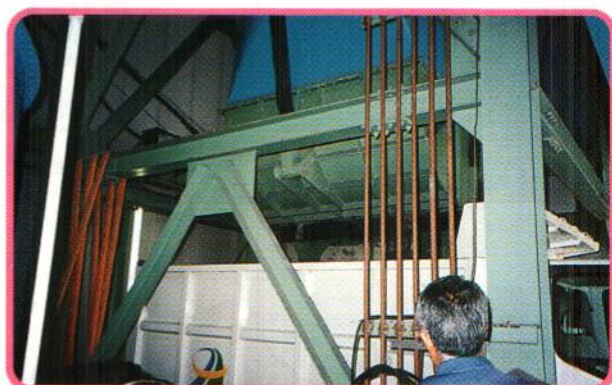
せんまいばた ふねんぶつ
千枚畑不燃物うめたて処分場

(4) 萩清掃工場の見学

清掃工場では、たくさんのごみを処理するために、ど
んな工夫くふうをしているのでしょうか。



中央せいぎょ室



はい
灰バンカ



ごみプラットホーム



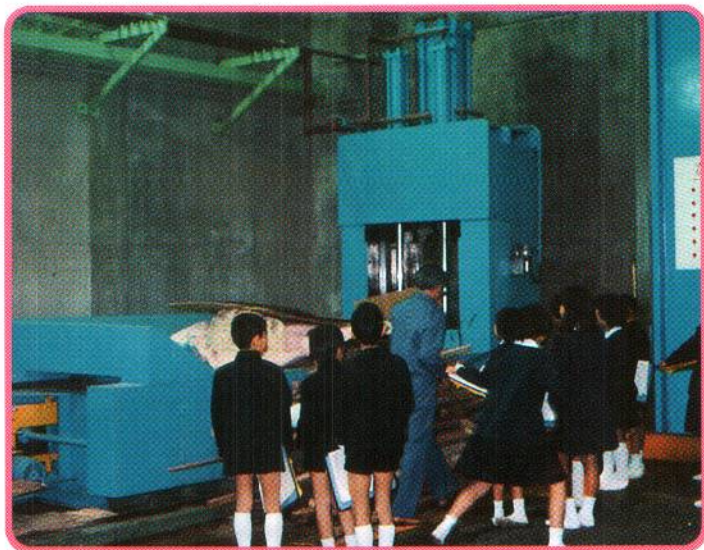
しょうきやくろ

ごみは、もやせば終わ
りなんだろうか。





ゆうどく
有毒ガスをのぞくそうち



大きいものをきる機械



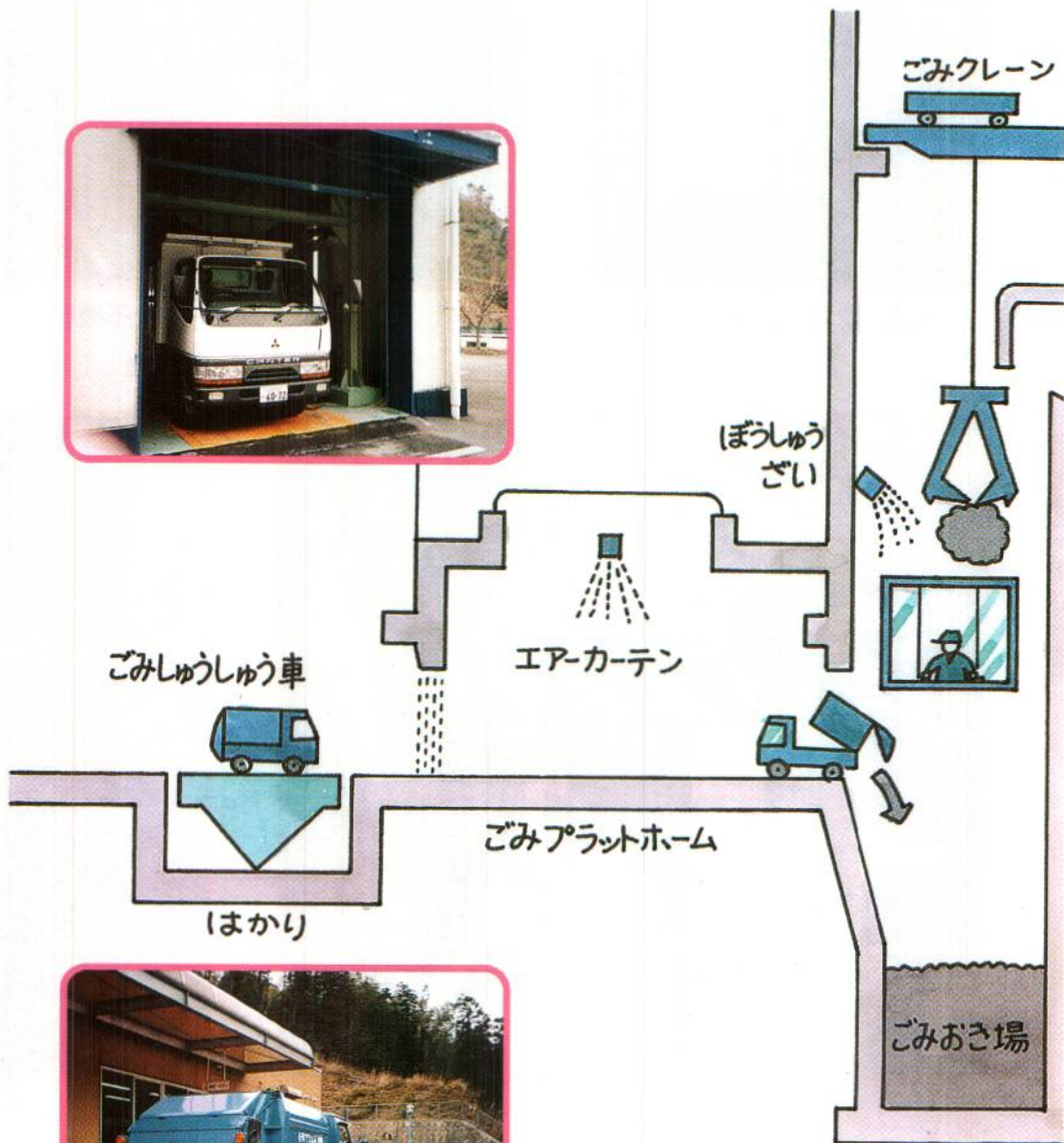
クレーンでゴミを入れる

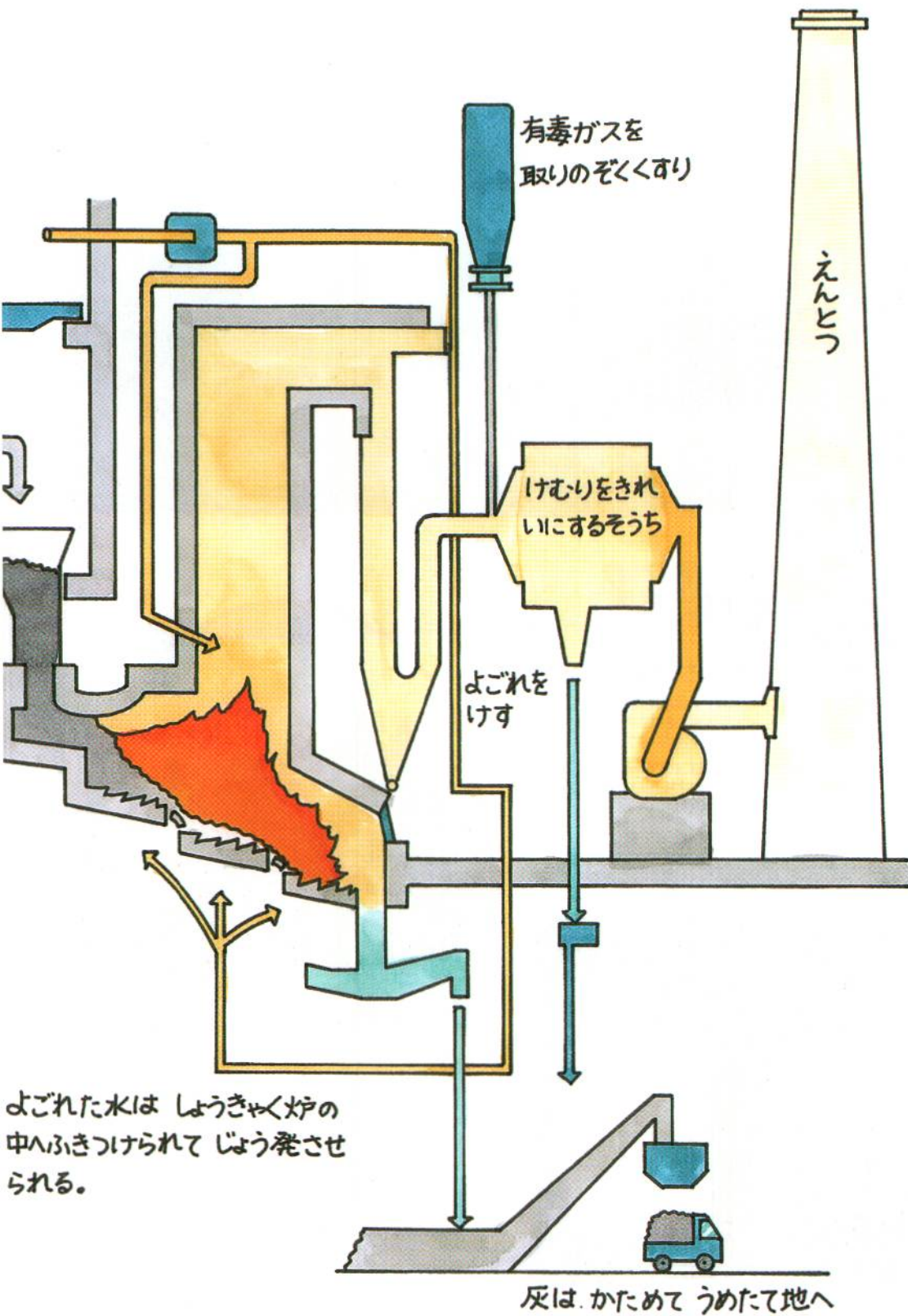


クレーン

(5) 萩清掃工場のしくみ

けむりやにおいを防ぐために、どんな工夫くふうをしているのでしょうか。





(6) ごみとかんきょう

かんきょうくふうを守っていくために、どのような工夫や努力が必要でしょうか。



地域の森林は、私たちの郷土とくらしを守るのに役立っています。

森林の保護育成に努め、後世に引き継いで行きましょう。

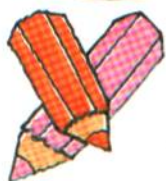
地域社会の大切な財産として、森林の働きや美しい景観を損なうことのないよう心掛けましょう。

林地開発許可制度に関する問い合わせは、県庁または、秋 林業事務所等の林地開発許可業務担当者へ

設置 平成 6 年 3 月 山口県知事



メモ



7

安全なくらしをまもる

1 交通事故を防ぐ

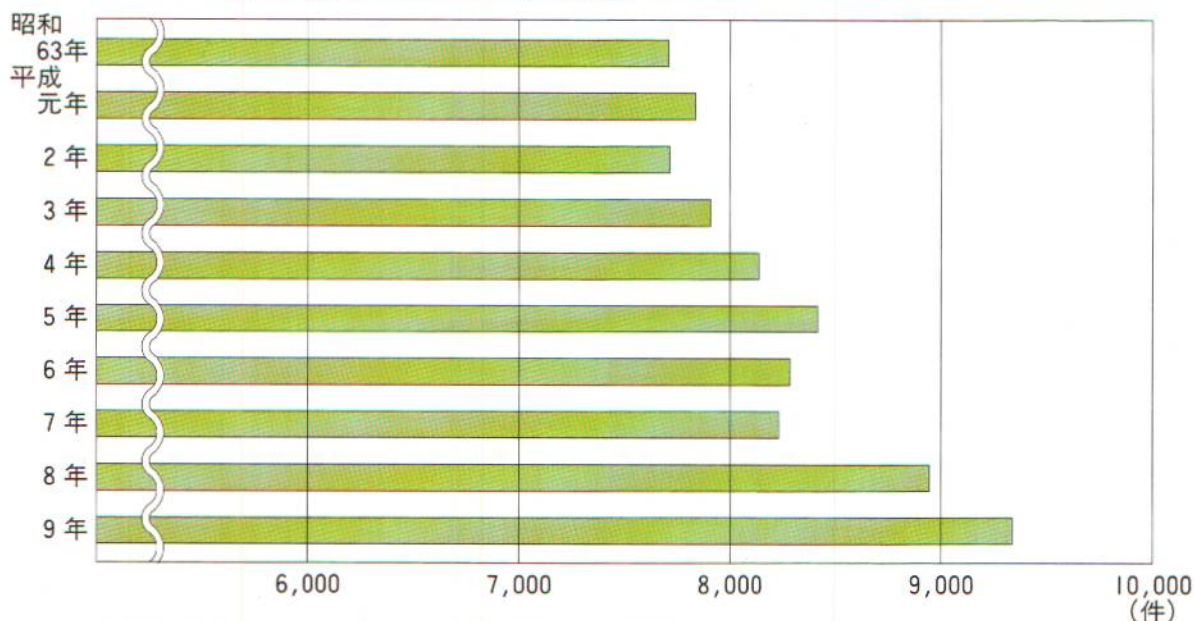
交通事故を防ぐために、村にはどんなしせつがありどのような活動が行われているのでしょうか。



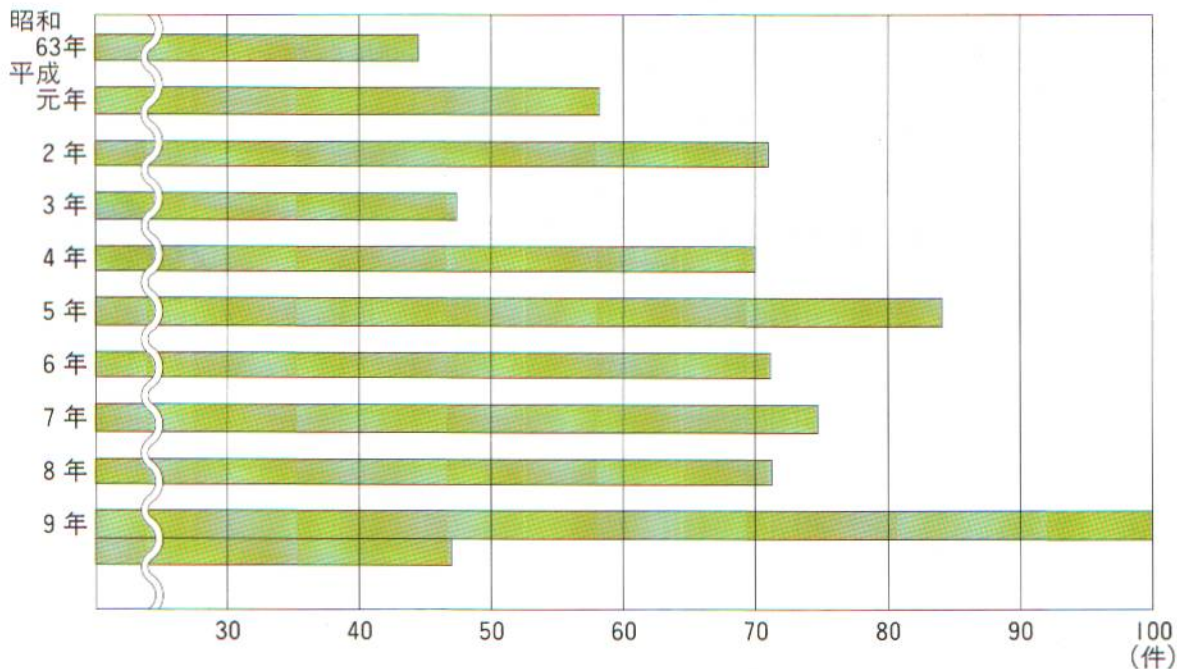
交通事故現場

山口県や福栄村では、どのくらい交通事故が起きているのでしょうか。

山口県内の交通事故の件数 (山口県けいさつ本部調べ)



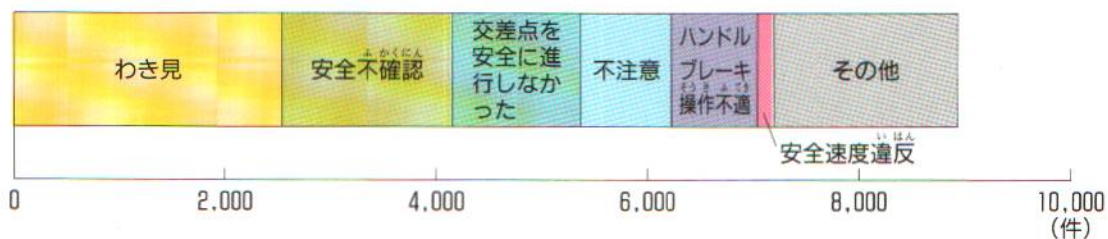
福栄村内の交通事故の件数（山口県けいさつ本部調べ）



山口県内の交通事故の発生場所（平成9年度山口県けいさつ本部調べ）



山口県内の交通事故の原因（平成9年度山口県けいさつ本部調べ）

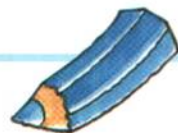


グラフから、どんなことが分かるでしょう。

(1) 交通事故を防ぐしせつ

学校のまわりの道路には、交通事故を防ぐためにどんなしせつがつくられているでしょう。

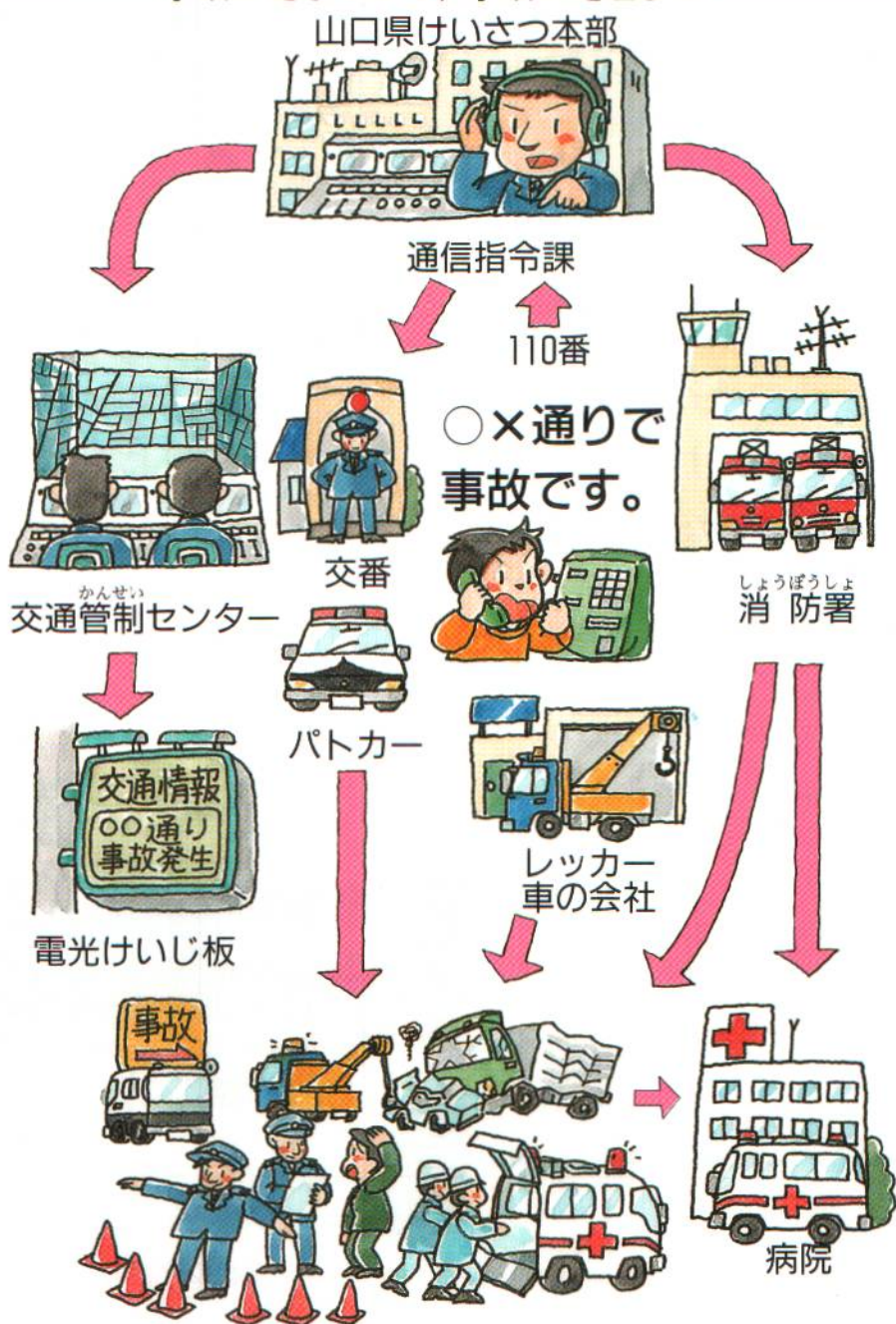
学校のまわりにある交通安全しせつ



(2) 交通事故が起きたら

交通事故を知らせる110番の電話は、どのように伝わっていくのでしょうか。また、事故が起きた場所には、どんな人が来るのでしょうか。

事故が起きてから、事故の処理まで



(3) 交通事故を防ぐ工夫や努力

交通事故を防ぐために、だれが、どんな活動をしているのでしょうか。



けいさつ
警察の人の話

交通事故を防ぐために、パトロールや通学時の交通指導をしています。

道路は、みんなが利用する大切なところです。その道路を有効に使うために、いろいろなルールが決められています。

みなさんも、そのルールを守って事故にあわないように気をつけてください。

ちゅうざい所だより



朝の交通指導

福栄村交通安全対策協議会 たいさく

会長 村長

副会長 助役

紫福保育園

福川保育園 ほいくえん

福栄中学校

紫福小学校

福川小学校

福栄村教育委員会

福栄村役場

村内の各種団体 だんたい

萩交通安全協会 福井・紫福分会

萩警察署 しよ 福井・紫福ちゅうざい所

交通安全母の会
老人クラブ

交通安全対策協議会のおじさんの話

この会は、福栄村内の保育園、小学校、中学校、教育委員会、役場、老人クラブなどが集まって、交通事故を防ぐために、危険な所を調べたり、安全のためのしせつをつくったりしています。また、学校などでは、交通当番を決めて、交通指導をしています。



交通安全のしせつや取り組み



おうだん
歩道や横断歩道



カーブミラー



じょうほう
道路情報



交通安全のよびかけ



ふじんかい
交通安全健民運動、婦人会の取り組み



新入児の交通安全教室

2 火事を防ぐ

火事から人々を守るために、村にはどんなしせつやせつびがあり、どのような活動が行われているのでしょうか。

(1) 火事を防ぐ

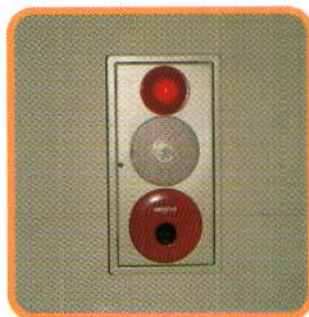


○学校の^{しょうぼう}消防しせつやせつび

学校には、どこに、どんな消防しせつがあるでしょう。



火災を知らせる機械



ねつ^き熱感知機



けむり感知機



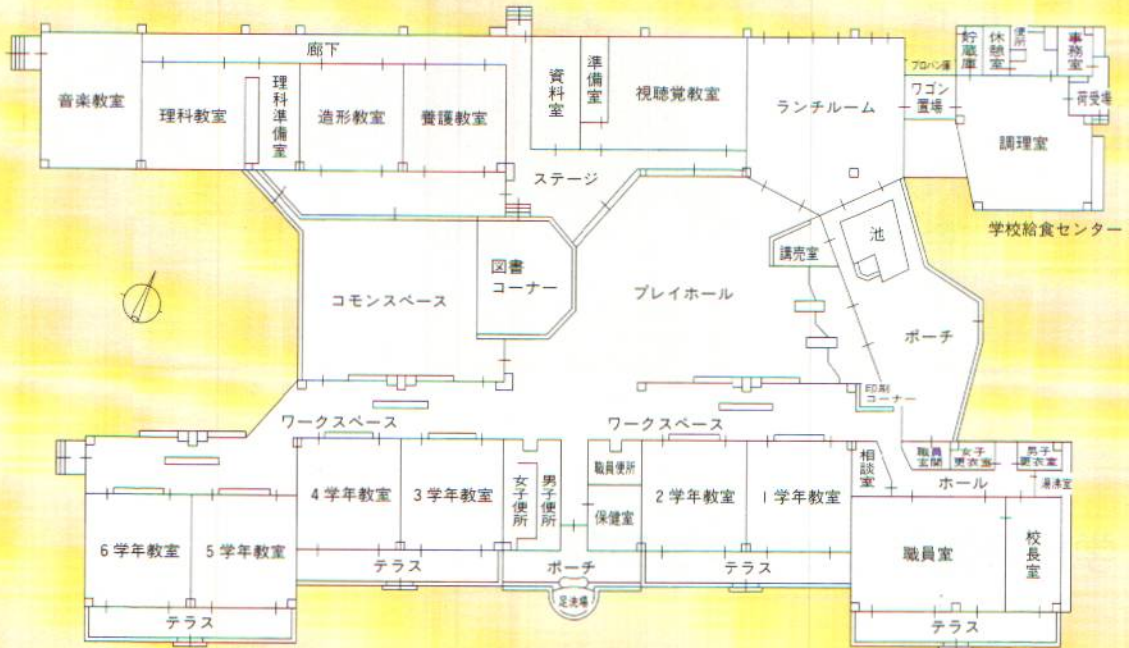
しょうかき
消火器



ぼうか
防火シャッター



福川小学校にある消防しせつやせつび



- ▲ 火災を知らせる機械 (火災受信機)
- 熱感知機 ● けむり感知機
- 火災を知らせる機械 (火災報知機)
- 消火器
- 〜 防火シャッター
- U 消火用バケツ



火事にそなえて



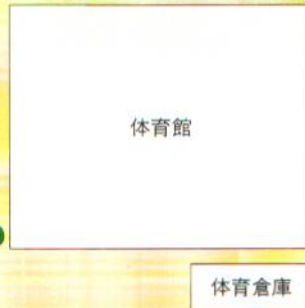
ひなんくん練



紫福小学校にある消防しせつやせつび



- ▲ 火災を知らせる機械 (火災受信機) じやしんき
- 熱感知機
- 火災を知らせる機械 (火災報知機) ほうちき
- 消火器
- けむり感知機
- 〰 防火シャッター
- U 消火用バケツ



ち い き し ょ う ぼ う
○地域の消防しせつやせつび

近くにも、消防しせつやせつびがあります。さがしてみましよう。



消防器庫きこ



消火せん



防火水そう

(2) 火事が起きたら

火事の連絡は、どこへ、どのように伝えられていくのでしょうか。

火事がおきたら、早く見つけた人が、電話で119番を回すと、福栄村役場の消防本部につながります。

役場の消防本部から消防分団に連絡されます。それと同時に無線放送を使って村全体に放送されます。

消防団の人たちは、火事の知らせを受けるとすぐ、火事の現場へかけつけます。

火事で、やけどやけがをした人たちを運ぶために、萩消防署にある救急車が使われます。

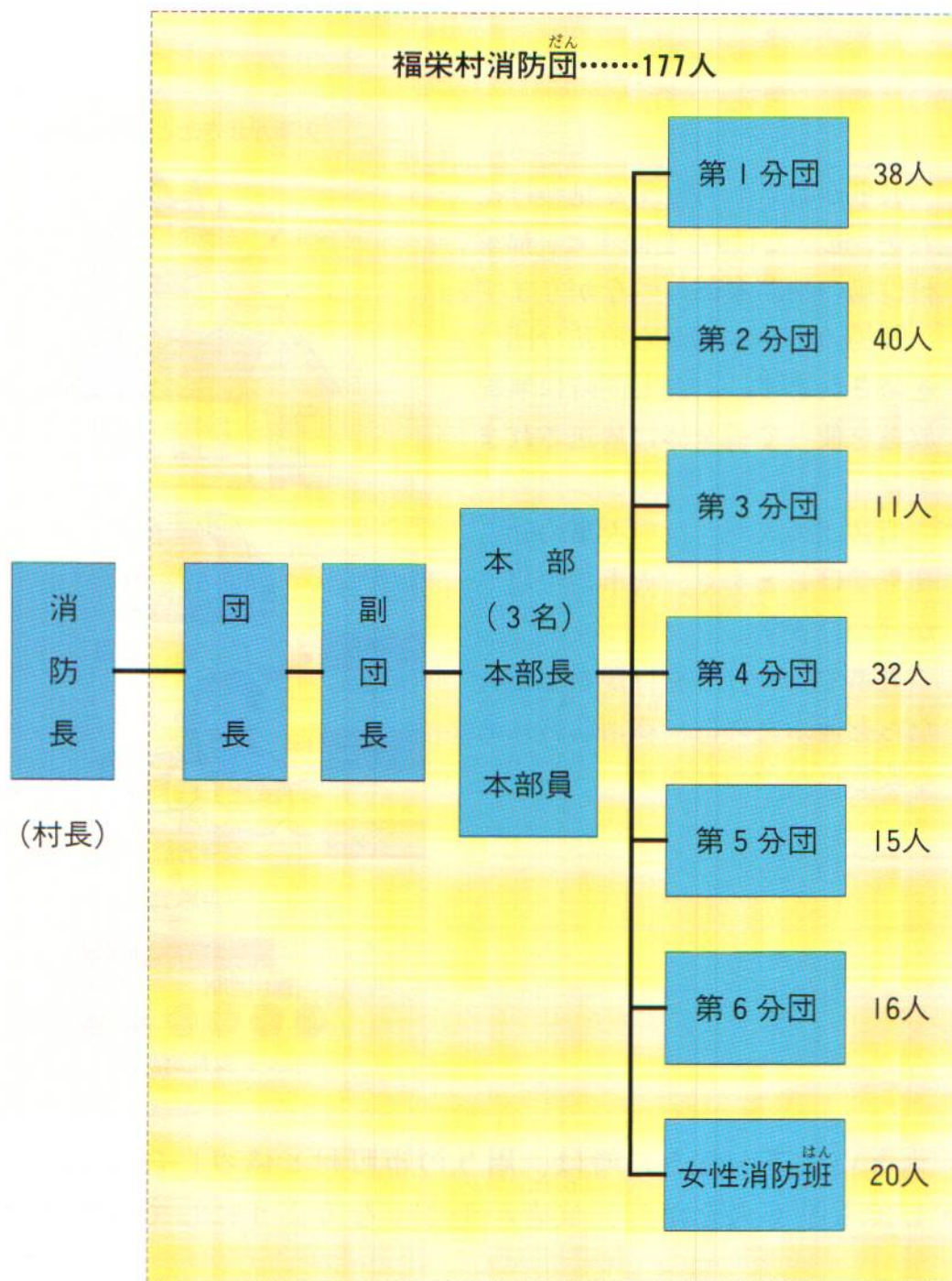
火事が起きたと連絡したら



大きい火事が起きた時は、周りの市町村と協力し合って、少しでも早く火を消し、被害が小さくなるようにしています。

しょうぼう そしき
●福栄村の消防組織

(平成9年度)



● 消防団の働き

村には、7つの消防分団があります。消防分団には、
どんなせつびがあり、どんな活動をしているのでしょうか。

福栄村の消防分団

分団名	せつび	地 区	分団倉庫のある場所
第1分団	ポンプ車1台	かぶね とうぞう 蕪根 高坂 生野 桜 金峰 扇町 東宗 にしろう かまうら えのきや べっしょ おしぼら にほだに 西宗 鎌浦 榎屋 別所 押原 仁保谷 かみむしろの しもむしろの くらがわ よしだ 上蕨野 下蕨野 黒川 吉田	西 宗
第2分団	ポンプ車1台 積さい車1台	おくばた ひらばら よこがい だんいまき ながた おき ながい 奥畑 平原 横貝 檀今木 永田沖 永井 はた とのがわ きょうぼ なが お すぎわら どうがいち 畑 殿川 京場 長尾 杉原 堂ヶ市 やまだ むかいやま 山田 向山	永 田 沖
第3分団	積さい車1台	ぶんじゃ やまぎき どうがきこ いりや 文捨 山崎 堂ヶ迫 入屋	入 屋
第4分団	ポンプ車1台	ほりごし くりばら こにしみ いち たなか おのだ 堀越 栗原 小西見 市 田中 小野田 なかやま 中山	市
第5分団	積さい車1台	つるがだに ひらわらびだい むぎだに はんだ 鶴ヶ谷 平蕨台 麦谷 半田	半 田
第6分団	積さい車1台	村の ^{ぜんいき} 全域	役 場
女性消防班	小がた ポンプ車1台	村の ^{ぜんいき} 全域	役 場



しょうぼうだんちょう
消 防 団 長 さん の 話

ふだんはちがう仕事をしていますが、^{ぼうさい}防災無線の放送を聞くと、服そうを整え、急いで^{げんば}現場にかけつけます。

消防団の主な活動として、消防せつびの^{てんけん}点検・整び、各家庭の^{ほうもんちょう}訪問調査、防火のよびかけ、消防水利の確認、出ぞめ式への参加などがあります。

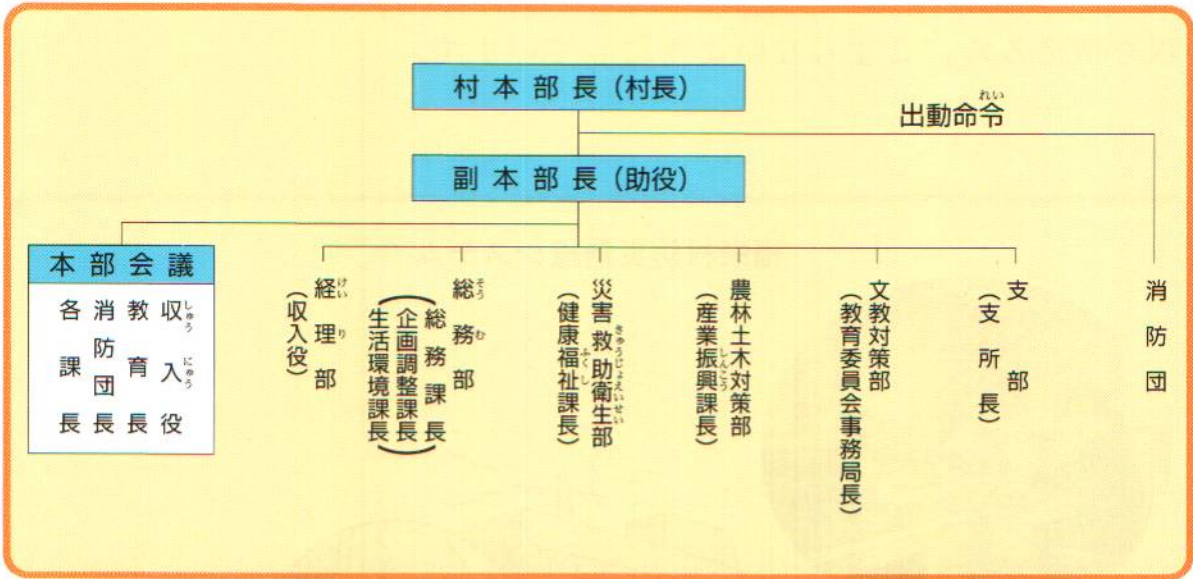


消防出ぞめ式



3 すいがい ふせ 風水害を防ぐ

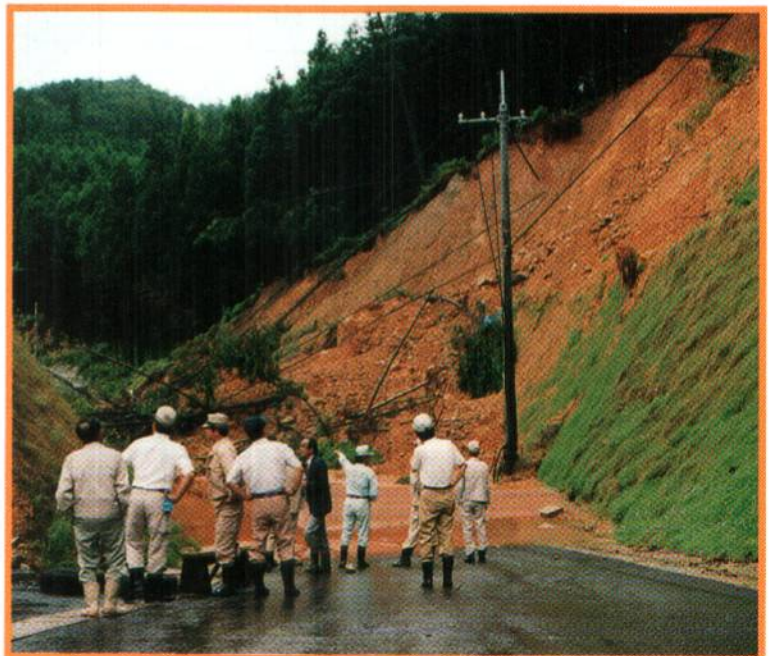
風水害から人々を守るために、村にはどんなしせつがあり、どんな活動が行われているのでしょうか。



福栄村災害対策本部

災害が起こりそうな時、村には災害対策本部が設置され、災害に関する情報を集めたり、それを村の人に伝えたりします

また、災害現場のパトロールにも出かけます。

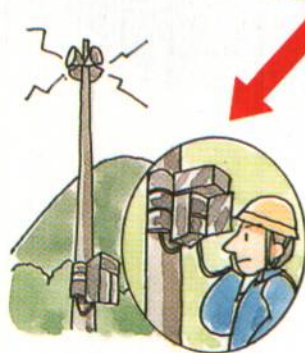
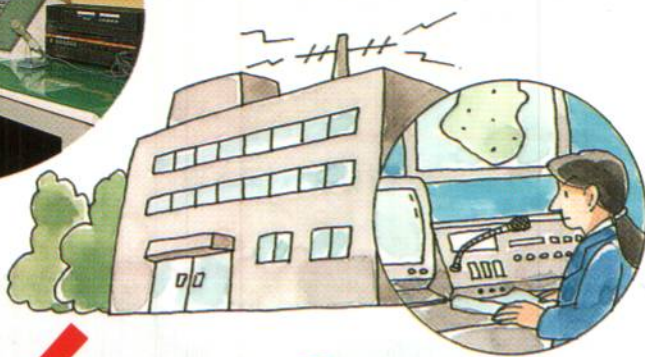


福栄村の災害

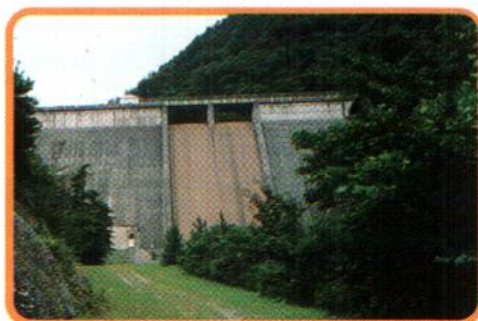
福栄村では、昭和53年に防災無線ぼうさいむせんがつくられました。これにより、
役場（送信所）から送られる災害のきん急情報きんきゅうじょうほうや日ごろの生活に必要な
さまざまな情報が、いち早く正確せいかくに伝えられるようになりました。

停電の時にも、自動的に非常電源ひじょうでんげんに切りかわり、きん急の大切な情
報を伝えるのにこまらないようにしています。

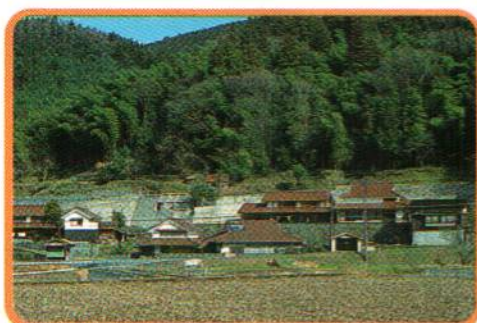
福栄村防災無線システム



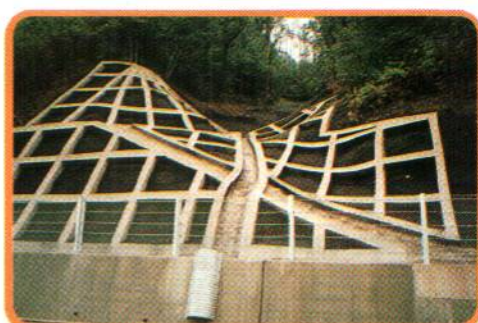
風水害を防ぐために^{ふせ}



山の口ダム



急けいしゃ地のほうかい防止



平成9年 かけくずれ改修工事^{かいしゅう}

きん急ひなん場所

福川地区……福川小学校、福栄中学校
福川公民館、半田公民館
紫福地区……紫福小学校、紫福公民館

村の取り組み

平成9年夏、台風によって福栄村は、大きなひ害を受けました。今後もしそのような風水害が起こらないともかぎりません。村では、災害によるひ害が少なくなるように次のような取り組みをしています。

家が集まって建っているあたりの山のしゃ面が大雨などでくずれないようにコンクリートで固めています。また、ため池がこわれないように改修工事を行っています。

8

きょうと びら 郷土を開く

1 郷土の発展につくした人びと

わたしたちの村では、住みやすくゆたかな村にするために、どのような苦勞や工夫をしてきたのでしょうか。

1) 水路すい道のある堀越

堀越は、わたしたちの村の一番東のはしにあって、山をへだてて、
あぶちようふくが いいだに
阿武町 福賀の飯谷という部落ととなりあっています。

東と北と南の三方を山で囲まれ、西に向かっておおぎのように水田が開けています。

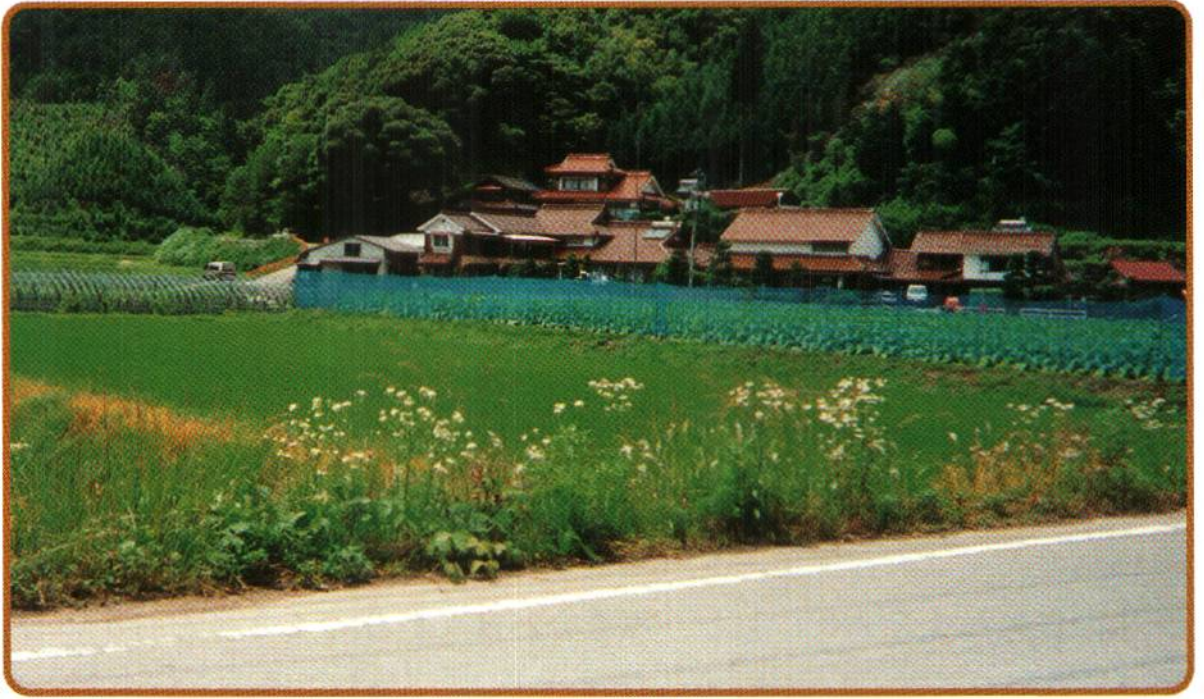
ここには、「堀越水路すい道」といわれる、田畑に水を引くためのトンネルがあります。これは、今から50数年前、そのころの紫福村村長の岩武壺 じょうすけ 祐さんと堀越の人々の総力 そうりょく によって完成したものです。



堀越水路すい道（入口）



（出口）



堀越地区の全景

堀越は、戸数約20戸、農業と林業のさかんな地区です。農業は米づくりと野菜づくりがさかんです。ここの林業は、山口県内でも有名で、堀越山一帯の森林は、山口県の模範林もはんりんとなっています。このように堀越がゆたかな地区となったかげには、昔から多くの人びとの努力があったからです。

○人々の願い

堀越は、小さなわき水の出る池と、小さな川しかありません。人々は、このわずかな水をたよりに水田を作ってきました。ところが、日照りが続くとわき水も少なくなり、小川の水もかれて、田に引く水もなくなり、雨のふるのを待つか、いねのかれるのを待つしか、手のほどしようがないありさまでした。しかし、田畑を守ってきた人々は、「田に水を引くよい方法はないものか」といつも考えて苦心していました。

ある時、ひとりのお百^{ひゃくしゅう}姓さんが、ひと山こした大井川のほとりの山林から、たくさんのわき水が出ているのを発見しました。「この山の下にトンネルをほって、この水を里の方に引くことができたらー。」と、考えました。里にもどってみなど相談して、村役場をたずね、村長さんをお願いしました。岩武村長は、村の農業用水のことに大変力を入れられた方でしたから、さっそく県に願いでて、測量^{そくりょう}してもらいました。その結果、水の取り入れ口から出口までの高さもちょうどよく、堀越山の下、285間^{けん}(513m)のトンネルをほれば、大井川の水を引き入れられることがはっきりしました。

堀越の人々は大喜びで、さっそくこの工事を進めるための組合をつくり、岩武村長を会長におし、力を合わせてやりぬくことをちかい合いました。

組合の代表の人々は、県庁^{けんちょう}に出向き、工事のきよかを求めました。しかし、県は、かんたんにもとめてくれませんでした。代表の人々は、何度も県庁に出向いてはくり返しくり返し事情^{じじょう}を話し、計画を説明し、お願いを続けました。県庁の係の人も、代表の人々のあまりの熱心さに負けて、工事をきよかし、費用をほじょすることをみとめました。昭和15年1月のことでした。

○工事の苦勞

昭和15年5月、いよいよ工事が開始されました。工事は農家の人と専門^{せんもん}の人が協力^{きょうりょく}して行いました。しかし、トンネルをほるのはたいへんな苦勞でした。土のよいところもあれば大きな岩ばんのところもありました。1mほるのに何日も何日もかかるどころや、ダイナマイトを使ってもびくともしないところもありました。今のような機械のないころのことですから「のみ」と「かなづち」、「つるはし」などがほる道具の主なもの、ほられた土や石は、「もっこ」や「トロッコ」で運び出されました。

そのうち、昭和16年12月、太平洋戦争が始まりました。戦争のため、物価はどんどん上がり、工費は予定の二倍三倍と上がって行きました。物の不足はひどいものでした。あかりに使うアセチレンガスも、のみ・かなづちも、かやくも、食べ物も……。自由に買える物は何ひとつありません。配給制度せいどになったのです。人手も不足してきました。働きざかりの男の人は、戦争に行かなくてはなりません。工事の世話をしていた主だった人も次々と戦争に出ていきました。それでも人びとは、ひるみませんでした。

初めは、取り入れ口の方から仕事を進めていましたが、仕事の見通しが立ってからは、出口の方からもほり進め、昼も夜もなく仕事は続けられました。

こうして、昭和19年9月、ついにトンネルの貫通かんつうをみたのです。最初心配していたくいちがいも、わずか2尺しゃく(60cm)たらずで、見事につなぐことができたのです。

○トンネルができてから

4年4ヵ月の年月をかけ、大変な苦勞をして完成したトンネルに水を通す日がきました。大井川の水はトンネルを通りぬけ、いきおいよく流れ出ました。トンネルの出口で見守っていた人々はおどりが上がって喜びました。だれかが、思わず、「命の水じゃ」とさげびました。「命水」「命水」という声がみんなの中に、輪のように広がっていきました。

このトンネルのおかげで、今まで水に^{こま}困っていた田んぼには、なみなみと水が注がれるようになりました。周りのあれ地や畑もかいこんされて、新しく田んぼに生まれ変わりました。

○トンネル工事の^{きねんひ}記念碑

今、堀越のバス停留所^{ていりゅうじょ}の近くには、この工事を記念する石碑が建てられています。

記念碑には、工事の様子や苦労のあとといっしょに、

「いわがねも 山をも貫^ぬきし真心を
とわ 永久につたえん 堀越の里」^{すいう}酔雨

という歌がきざまれています。

この記念碑は、いつまでも堀越の里を見守っています。



トンネル工事記念碑

(2) その他の新しく開発されたところ



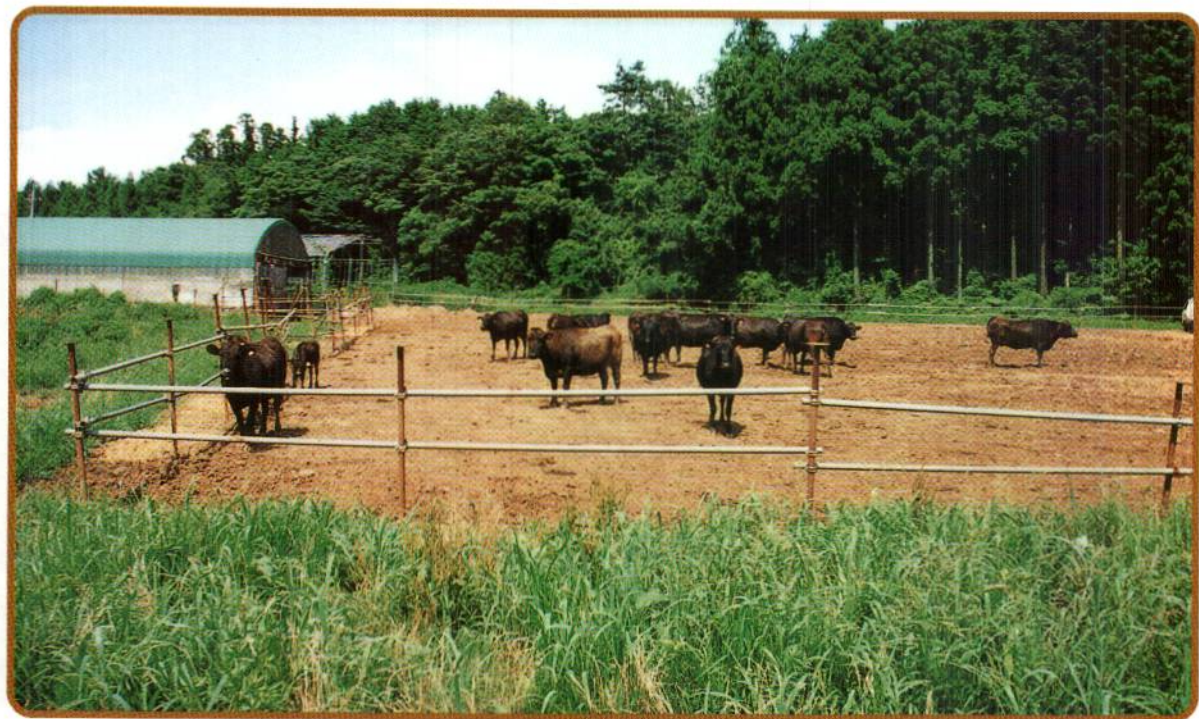
ひらわらびだい
平蕨台



はがだい
羽賀台



ひらぼらだい
平原台



ながさわだい
長沢台

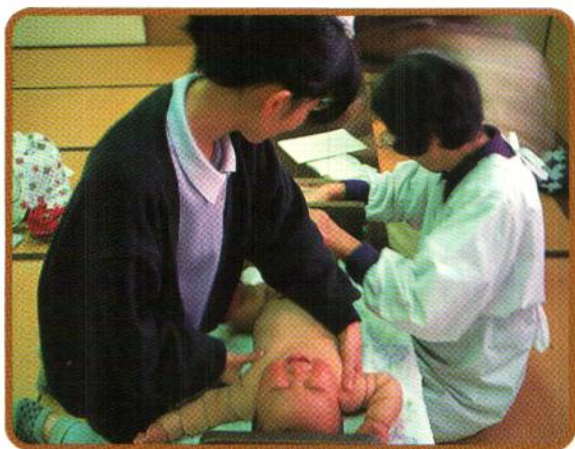
2 新しい村づくり

村をもっと発展^{てん}させるために、今でもいろいろなことが行われています。

地域の人々は、どんな村にしたいという願いをもっているのでしょう。

自分たちの身のまわりで進められている、新しい村づくりのようすを調べてみましょう。

(1) うるおいのある村づくり



にゅうようじけんしん
乳幼児健診



ホームヘルプ事業



ふくふくトンネル



むきだに
ホテルの生息地 (麦谷)

(2) 心ゆたかな村づくり



生涯学習のついで



人権教育推進大会



たたら製鉄いせき



たたらだいこ



寒げいこ



英会話教室

(3) 活力のある村づくり



新しい農業の取り組み



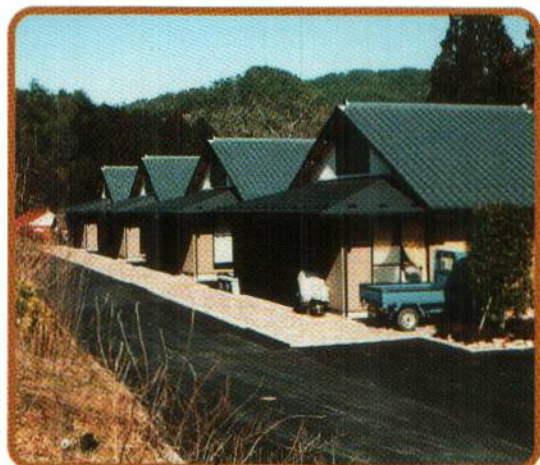
林道開発



シクラメンフェア



林業の取り組み



じゅうたくだんち
住宅団地



てっこう
鉄工団地

(4) ふれあいのある村づくり



ハピネスふくえ



しぶきえん
紫福園 (運動会)



ふるさと福栄ツアー



村民運動会



村長さんのお話

福栄村は、古くから山紫水明さんしすいめいの自然の中で、豊かなくらしと平和な地域社会ちいきをもとめて、努力を重ねてきました。

そして、今も、うるおいのある環境かんきょうづくり、心豊かな人づくり、活力ある産業づくり、ふれあいのある村づくりを柱にして、より住みよい村づくりをめざしています。

福栄村に育つみなさんが、このめぐまれた自然の中で、たくさんのことを経験して、心身ともにすこやかに成長してくれることを願っています。

福栄村のうつりかわり（年表）

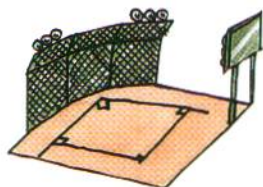
年前	せいれき 西暦	ごう 年号	おも 主なできごと
106年前	1892年	めいじ 明治25年	村ではじめて自転車 <small>じてんしゃ</small> にのる人がいた。新聞 <small>しんぶん</small> を見る人もいた。
103年前	1895年	28年	紫福村 <small>しぶき</small> の役場 <small>やくば</small> が市 <small>いち</small> から畑 <small>はた</small> へうつった。
97年前	1901年	34年	紫福農会 <small>のうかい</small> ができた。2年後に福川農会 <small>のうかい</small> もできた。
83年前	1915年	たいしょう 大正4年	紫福 <small>おおい</small> と大井 <small>おおい</small> の間に道路 <small>みち</small> ができた。
82年前	1916年	5年	大井川 <small>はつ</small> 発電所 <small>しよ</small> ができ、電灯 <small>とう</small> がつけられるようになった。
80年前	1918年	7年	萩 <small>はぎ</small> ・三谷間 <small>みたにかん</small> の乗合バス <small>のりあい</small> が福川村を通るようになった。
75年前	1923年	12年	萩 <small>はぎ</small> ・大井 <small>おおい</small> ・紫福畑 <small>あいだ</small> の間を乗合バス <small>のりあい</small> が通るようになった。
			長門峡 <small>ちやうもんきやう</small> 発電所 <small>ちやうもんきやう</small> ができた。
			地下 <small>ぢか</small> たび・ゴムぞうり・ゴムぐつをはくようになった。
72年前	1926年	15年	福川・紫福 <small>さんしゆくしよ</small> に散宿所 <small>さんしゆくしよ</small> ができた。
			新聞 <small>しんぶん</small> の取次店 <small>とりつぎてん</small> ができ、だんだん新聞を見る人が多くなった。
72年前	1926年	しょうわがん 昭和元年	福井郵便局 <small>ゆうびんきょく</small> で電信電話 <small>しんわ</small> の仕事 <small>しごと</small> をはじめた。
71年前	1927年	2年	小学校 <small>じどう</small> の児童 <small>がくせい</small> が学生服 <small>ふく</small> を着るようになった。
			村ではじめてラジオが聞けた。
			電灯 <small>でんとう</small> がほとんど全村 <small>ぜん</small> につくようになった。
70年前	1928年	3年	女性 <small>じよせい</small> が、かんたん服 <small>ふく</small> を着はじめた。
69年前	1929年	4年	村ではじめて自家用自動車 <small>じかようどう</small> に乗る人がいた。
67年前	1931年	6年	紫福郵便局 <small>しんりんぐみあい</small> で電信電話 <small>しんわ</small> の仕事 <small>しごと</small> をはじめた。
63年前	1935年	10年	紫福森林組合 <small>しんりんぐみあい</small> ができた。
57年前	1941年	16年	福川の県道 <small>かひ</small> が改しゅうされた。
55年前	1943年	18年	福川森林組合 <small>しんりんぐみあい</small> ができた。



年前	せいれき 西暦	ごう 年号	おも 主なできごと
53年前	1945年	昭和20年	紫福 <small>しんりょうじょ</small> に診療所 <small>しんりょうじょ</small> ができた。
52年前	1946年	21年	婦人会 <small>ふじんかい</small> がつくられ、活動 <small>かつどう</small> をはじめた。
51年前	1947年	22年	中学校 <small>ちゅうがっこう</small> ができた。
50年前	1948年	23年	農業協同組合 <small>のうぎょうきょうどうくみあい</small> ができた。奈古 <small>なご</small> 高等学校紫福分校 <small>ふんこう</small> ができた。
48年前	1950年	25年	台風 <small>たいふう</small> により大きな被害 <small>ひがい</small> をうけ、半田地区 <small>はんだちく</small> では特にひどかった。
43年前	1955年	30年	福川村と紫福村を合わせて福栄村 <small>ふくえい</small> となった。
40年前	1958年	33年	福川中学校 <small>おくない</small> の屋内運動場 <small>おくない</small> ができた。
39年前	1959年	34年	テレビを見る人がふえてきた。
37年前	1961年	36年	福川小学校 <small>せんごさいだい</small> 戦後最大の学校規模 <small>きぼ</small> となった。 (499人、11学級)
36年前	1962年	37年	萩市小畑 <small>おぼた</small> から出火 <small>しゅつか</small> して黒川・吉田方面 <small>ほうめん</small> までひろがった。
35年前	1963年	38年	福栄村商工会 <small>しょうこうかい</small> ができた。
34年前	1964年	39年	大雪 <small>ゆき</small> が降 <small>ふ</small> って1メートル以上積 <small>いじょうつ</small> もった。
33年前	1965年	40年	消防団 <small>しょうぼうだん</small> に消防自動車 <small>しょうぼうじどうしゃ</small> がそなえられた。
31年前	1967年	42年	紫福小学校 <small>てっきん</small> の鉄筋コンクリート校舎 <small>こうしゃ</small> ができた。
30年前	1968年	43年	国民健康保険 <small>こくみんけんこうほけん</small> で、医療費 <small>いりょうひ</small> の7割 <small>わりきゅうふ</small> 給付 <small>きゅうふ</small> がはじまった。
29年前	1969年	44年	福川農協 <small>しんちく</small> が新築 <small>しんちく</small> された。
29年前	1969年	44年	保育園 <small>ほいくえん</small> がはじまった。
28年前	1970年	45年	地籍調査 <small>ちせきちょうさ</small> がはじまった。
26年前	1972年	47年	羽賀台 <small>はがのだい</small> で農業改善事業 <small>のうぎょうかいぜんじぎょう</small> がはじまった。
24年前	1974年	49年	奈古高等学校紫福分校がなくなった。
			森林組合 <small>しゅうだん</small> が合併 <small>がっぺい</small> して福栄村森林組合 <small>ふくえい</small> となった。
			集団電話 <small>しゅうだん</small> と有線放送 <small>ゆうせんほうそう</small> がはじまった。
			ライスセンターが福川にできた。
			阿武川ダムの工事がはじまった。
			福栄村コミュニティセンターができた。
			平蔵台 <small>ひらわらびだい</small> の農地開発事業 <small>のうちかいほつ</small> ができあがった。



年前	せいれき 西暦	ごう 年号	おも 主なできごと
23年前	1975年	50年	福川診療所 <small>しんりょうじょ</small> が新築移転 <small>い てん</small> した。
22年前	1976年	51年	農村基盤総合整備パイロット事業 <small>きばんそうごうせいび じぎょう</small> がはじまった。
21年前	1977年	52年	ライスセンターが紫福にできた。
20年前	1978年	53年	無線放送 <small>むせん かいりょう</small> に改良 <small>かいりょう</small> された。
19年前	1979年	54年	福栄村農業担い手育成センター <small>いくせい</small> が紫福にできた。
18年前	1980年	55年	紫福バイパスができた。
17年前	1981年	56年	福栄村老人福祉センター <small>ろうじんふくし</small> が紫福にできた。
16年前	1982年	57年	福川小学校 <small>かいちく</small> が改築移転した。村民グランドができた。
15年前	1983年	58年	村民体育館 <small>そんみんたいいくかん</small> ができた。
			紫福診療所が新築移転した。
			紫福小学校屋内運動場 <small>おくない</small> ができた。
			山のログダムができた。
14年前	1984年	59年	県森林組合共販所が福井にできた。
10年前	1988年	63年	滝 <small>たき</small> の里キャンプ場ができた。
9年前	1989年	平成元年	特別養護老人ホーム「紫福園」 <small>とくべつようご しろうじん</small> ができた。
			農業基盤整備パイロット事業が終わった。
8年前	1990年	2年	紫福保育園が改築された。
7年前	1991年	3年	大板山たたら製鉄遺跡発掘調査 <small>せいてつ いせきはつくつちようさ</small> がはじまった。
6年前	1992年	4年	保健センター「すくすくふくえ」ができた。
			「ふくふくトンネル」ができた。
5年前	1993年	5年	県道「山口福栄須佐線」 <small>すき おしぼら</small> 押原バイパスができる。
4年前	1994年	6年	「美乃越トンネル」 <small>みのこし</small> ができた。
3年前	1995年	7年	大板山たたら製鉄遺跡保存整備完了する。
2年前	1996年	8年	福川中学校・紫福中学校を閉校し、福栄中学校 <small>へいこう</small> ができる。
1年前	1997年	9年	「ハピネスふくえ」ができる。
			紫福小学校校舎内大規模改修工事 <small>こうしゃ だいき ぼかいしゅう</small> があった。
	1998年	10年	福栄村農業担い手育成センターの改装工事があった。
			平わらび台活性化交流施設ができた。
			紫福小学校にプールができた。



あどがき

この本は、3・4年生の社会科の学習でわたしたちの住んでいる福栄村の土地のようす、人々の仕事やくらしなどについて、調べることが中心になっています。

そして、これから住みよい豊かな福栄村にするには、どうしたらよいか考えていくことも大切な勉強です。

そこで、こうした学習に役立ててもらうために、写真やさし絵、グラフなどの資料をたくさんとりいれ、副読本「わたしたちのふるさとふくえ」を新しく作りかえました。




みなさんは、福栄村の人々のくらしや住みよい村にするための人々の努力をくわしく調べて考えてください。

そして、これからの福栄村がどのようにのびてゆくのかを知り、また、そのためにつくすことのできる人になることを願っています。

この副読本をつくるために、多くの方々のあたたかいご指導、ご協力をいただきましたことに深く感謝し、お礼を申しあげます。

福栄村全図

土地の高さ

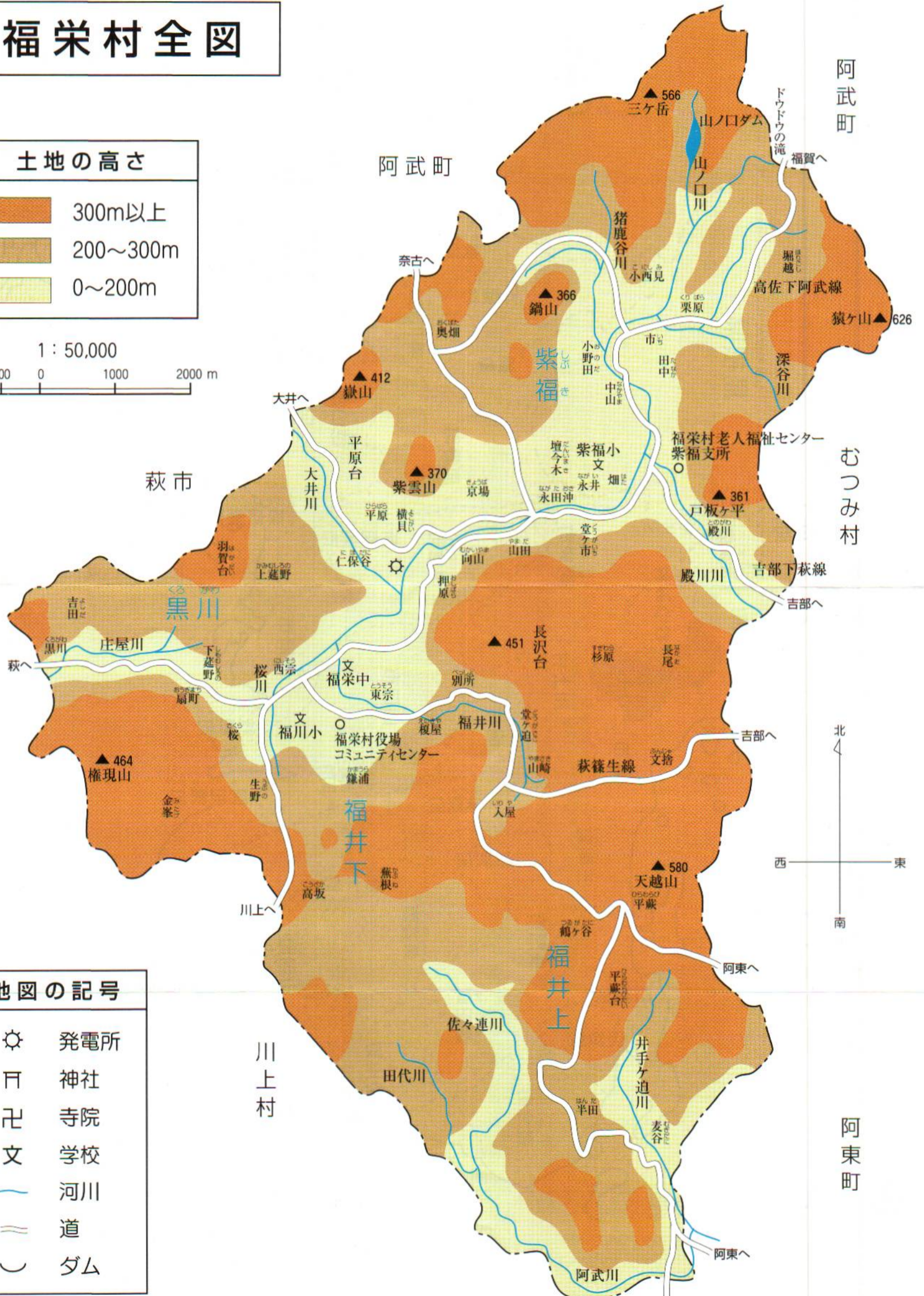
	300m以上
	200~300m
	0~200m

1 : 50,000



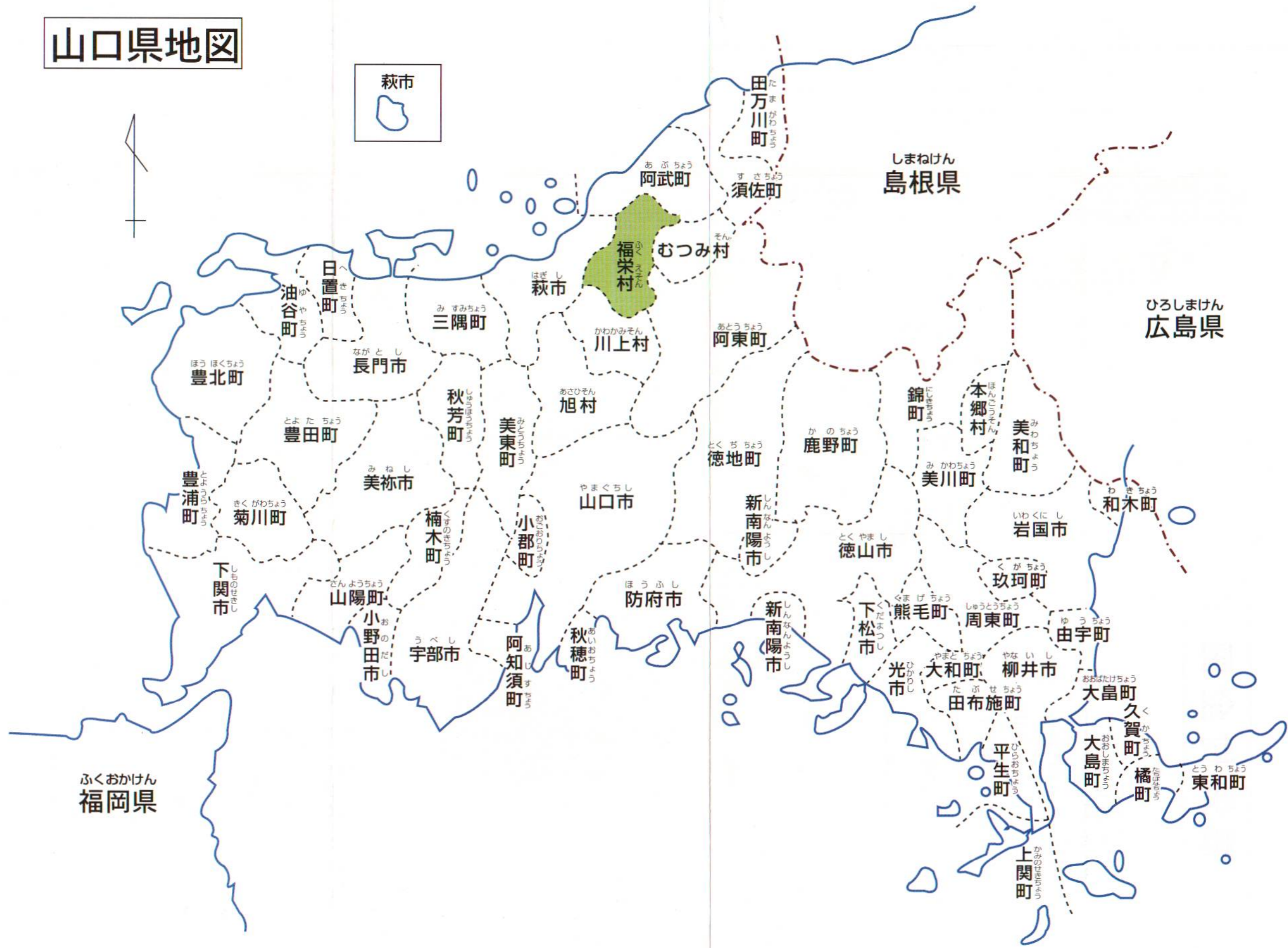
地図の記号

	発電所
	神社
	寺院
	学校
	河川
	道
	ダム



川上へ 山口須佐線(国道10号線)

山口県地図



しまねけん
島根県

ひろしまけん
広島県

ふくおかけん
福岡県

福栄村小学校社会科副読本 「わたしたちのふるさと ふくえ」

監修者・編集委員

監 修 者	福栄村教育委員会	教育長	杉 山 尚
	福栄村文化財調査委員会	委 員	岡 英 夫
	福栄村教育委員会	事務局長	鈴 木 和 夫
編 集 委 員	福川小学校	校 長	瀬 畑 知 道
	福川小学校	教 頭	三 島 敬 史
	紫福小学校	教 頭	岩 本 偉 久
	紫福小学校	教 諭	久 本 純 子
	紫福小学校	教 諭	田 中 泰 博
	福川小学校	教 諭	村 岡 由 美 枝
	福川小学校	教 諭	小 田 宏 明
前編集委員	前福川小学校	教 頭	津 田 章
	前福川小学校	教 諭	田 原 俊 子

福栄村小学校社会科副読本
わたしたちのふるさと ふくえ

平成11年4月1日発行

編集者 福栄村小学校社会科副読本編集委員会
発行者 福栄村教育委員会
印刷所 大村印刷株式会社



小学校 年 組

なまえ